



イエスの愛に信頼する

# 目次

救い主を掲げる	5
最も尊いメッセージ	10
わたしたち自身の栄光をちりに伏させる	15
愛：義の本質	20
わたしたちの神の律法の必要	26
その律法のうちに表されたキリストの義	31
芳しい香りのような品性	36
イエスを受け入れること	41
キリストの義をつかむ	46
義の真珠を手に入れる	52
キリストのうちにあるわたしたちの価値	57
イエスのために生きる	62
イエスと共に歩む	67

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.89, No.4

編集&発行：  
S DA改革運動日本ミッション

〒368 - 0071  
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保  
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 26-5059

URL :  
<http://www.4angels.jp>

E-mail:  
[support@4angels.jp](mailto:support@4angels.jp)

イラスト : Illustrations: Good Salt on front cover; RF123 on pp. 25, 51, and back cover; Map Resources on pp. 4, and back cover.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

# まえがき

わたしたちは終わりの時に生存しています。状況はわたしたちを徹底的に試すことでしょう。わたしたちの神との関係がテストされます。わたしたちには、慎重に生きるための導きと指示があります。

「終末の時にあって、神の民は地に行われる憎むべきことを、嘆き叫ぶのである。彼らは涙を流して、神の律法をふみにじる危険について悪人たちに警告を発し、言語に絶した悲しみをもって、主の前にへりくだり罪を悔いる。悪人たちは彼らの悲しみをあざけり、彼らの厳粛な訴えを嘲笑する。しかし、神の民の苦悩と屈辱とは、罪の結果失われた品性の力と高貴さを、彼らが回復しつつある間違いのない証拠である。彼らが罪のはなはだしい邪悪さをはっきり認めるのは、彼らがキリストに近づき、彼らの目がその完全な純潔さを凝視するからである。柔和と謙遜が、成功と勝利の条件である。栄光の冠は、十字架のもとにひざまずく者を待っている。」(国と指導者下巻 195, 196)

イエスの御前に生きるということを学ぶのは、現代の神の民にとって課題です。思いを忙しくさせ、気を散らし、その一方で永遠の重要性を持つものは過小評価し、無視させるものが、多くあります。安息日学校支部は、各人の心がイエス・キリストのご臨在と聖霊によって占められ、それによってわたしたちが永遠の現実を認識するようにと望んでいます。わたしたちには神の民が主人の召しに答えるようにとの心からの願いがあります。「わが子よ、あなたの心をわたしに与え、あなたの目をわたしの道に注げ」(箴言 23:26)。

「主はその大いなる憐れみのうちに、ご自分の民に最も尊いメッセージを送ってください。……このメッセージは世の前に上げられた救い主、すなわち全世界の罪のための犠牲をもっと前面に押し出すべきである。それは保証人を信じる信仰を通しての義認を提示した。それは神のすべての戒めに対する従順のうちに表わされたキリストの義を受け入れるようにと、人々を招いた。多くの人はいエスを見失っていた。彼らは自分たちの目をこのお方の神性、このお方の功績、そして人類家族へのこのお方の変わらない愛に向ける必要があった。すべての力はこのお方のみ手のうちに与えられている。それはこのお方が豊かな賜物を人間に分け与え、無力な人間にご自身の義という非常に高価な賜物を与えることがおできになるためであった。これこそ、神が世に与えるようにとお命じになったメッセージである。」(牧師への証 91〔強調付加〕)

「第三天使のメッセージは、第四条の安息日の提示を求めている。そしてこの真理は世の前に伝えられなければならない。しかし、偉大な魅力の中心であられるイエス・キリストが、第三天使のメッセージから取り残されてはならない。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 383〔強調付加〕)

世界総会安息日学校支部

## 第一安息日献金

スリナムの礼拝堂のために

スリナム共和国、すなわち旧オランダ領ギアナは、南北アメリカの中で最も小さい国です。人口は(2010年統計で)524,636人でした。おもな宗教は、ヒンズー教、イスラム教、ローマカトリック、オランダ改革派、モラビヤ教、そしてそのほかいくつかのキリスト教派です。ここには完全な宗教の自由があります。



2007年に、二組の若い夫婦が伝道に燃えて、給与や旅費もなくボランティアで働くために、スリナムを訪れました。彼らは文書伝道や自然の商品の販売を通して働きを始めました。

魂を探す大変な働きでしたが、2011年5月に、彼らの働きの初穂が実り、三人の魂がバプテスマを受けました。ルーマニアのポルンバクで2011年世界総会が開催されたときに、スリナムミッションが認められました。わたしたちの教会はすでに、スリナムにおいて登録され、組織されています。2011年8月に、按手を受けた牧師が家族といっしょにブラジルからスリナムの首都であるパラマリボへ派遣されました。

最近、立地条件の良い一角の土地を購入しました。ここに信徒たちが礼拝堂と本部を建設しようと計画しています。わたしたちの兄弟姉妹は主のために魂を勝ち得ようと勇気に満たされています。彼らは健康のメッセージという最初のくさびを用いて、成功しています。地元の牧師もまたフランス領ギアナという近隣国での働きを手伝っています。今すでに旧ギアナ、すなわちイギリス領、オランダ領、フランス領に教会員がいることを主に感謝します。

「自国の伝道の働きは、海外のミッションの繁栄のために表わされる今以上の惜しみない自己否定と自己犠牲の精神が表わされる時、さらにあらゆる方法において進展するのである。なぜなら、自国の働きの繁栄は大いに、神の下にあって、遠方の国々における伝道の働きの反射的な感化力にかかっているからである。わたしたちが自分の魂をあらゆる力の源なるお方に接触させるのは、積極的に神のみ事業の必要を満たすことによるのである。」(教会への証 6 卷 27)

スリナムミッションの発展のために第一安息日献金が集められるときには、惜しみない献金をおねがいたします!

—スリナムミッションから皆さんの同胞なる兄弟より

## 救い主を掲げる

「見よ、この人だ」(ヨハネ 19:5)

「偉大な魅力の中心であられるイエス・キリストが、第三天使のメッセージから取り残されてはならない。この時代のための働きに携わってきた多くの人々は、キリストを二次的なものとし、理論や議論を第一としてきた。」(セレクトド・メッセージ 1巻 383)

推奨文献：キリストへの道 1-12

日曜日

9月29日

### 1. わたしたちの保証人イエス

- a. 神の側のどの行為が、わたしたちの世に対するこのお方の愛とまた不法の代価を同時に示しましたか(ヨハネ 3:16, 17; コリント第二 5:21)。

「贖いの計画は、人間の思いの理解をはるかに超えている。神の側の大きいなるへりくだりは、わたしたちの測るところを超えた奥義である。計画の偉大さは十分に理解することができない。また、無限の知恵なるお方はそれにまさる計画を考案することはできなかった。……この計画を通して、偉大にして恐るべき神は正義であられながら、なおイエスを信じ、このお方を個人的な救い主として受け入れるすべての人を義認することがおできになる。」(SDA バイブル・コメント [E.G. 初作・コメント] 5巻 1133)

- b. イエスのどの行為が、ご自分がわたしたち一人びとりに持っておられる無限の愛を、疑いの余地なく、宣言しましたか(ヨハネ 15:13; ローマ 5:6-8; エペソ 2:13, 14)。

「ああ、なんとという驚くべきへりくだりであろうか!天の大君が、墮落した人類への愛と憐れみを通して、身代わりと保証になることを申し出られた。このお方は人間の有罪を担い、御父の怒りをご自身が引き受けられるのであった。さもなければ、それは不従順のゆえに、墮落した人間の上に下るはずであった。」(レビュー・アンド・ヘルド 1874年2月24日)

## 2. わたしたちの焦点

- a. イエスのご品性のうるわしさを、聖書にあるどの呼び名が描写していますか。またこのお方のうるわしさを眺めるとき、わたしたちの上にとどのような感化力が及びますか（雅歌 2:1; 5:16; ハガイ 2:7）。

「神は言葉に表現できない愛をもってわたしたちを愛してくださっている。わたしたちが人知を越えたこの愛の長さ、広さ、深さ、高さをいくぶんでも理解するときに、わたしたちの愛は神に向かって目ざめる。人を引きつけるキリストの美しさが表わされることによって、また、わたしたちがまだ罪びとであった時にわたしたちにあらわされたその愛を知ることによって、かたくなな心は溶かされ……。」（祝福の山 94）

- b. わたしたちが自分の目をイエスに留め続けていることが、なぜ重要不可欠なのですか。民数記 21:8 をヨハネ 3:14 やヘブル 7:25 と比較しなさい。

「わたしたちの信仰は、完全な信頼、すなわち十分にあますところなく贖罪の犠牲を信じる信仰をもってイエスを眺める知的な信仰でなければならない。魂がやみに囲まれないために、これが重要不可欠である。」（*エレゲット・メッセージ* 1巻 256）

「わたしたちのためのキリストのとりなしとは、ご自身をわたしたちの身代わりと保証人として御父に捧げることにより、ご自分の神聖な功績を提示するとりなしである。……

悔いた罪人が神の御前に受け入れられ、その義認をもたらすのはキリストの義である。その生涯がいかに罪深くとも、もしイエスを自分の個人的な救い主として信じるならば、彼はキリストの着せられた義というしみのない衣を着て、神の御前に立つのである。

これまで不義と罪のうちに死んでいた罪人は、キリストを信じる信仰によってよみがえらされる。信仰によって彼はイエスが救い主であられること、またすべての人を「彼によって神に来る人々を、いつも救う」ことができることを認める。（ヘブル 7:25）。自分のための贖罪のうちに、信徒は力の広さ、長さ、高さ、そして深さを知る。すなわち、これほどの代価を持って換われた救いの完全さを知り、その魂は讚美と感謝に満ちる。彼は主の栄光を鏡に映すように見て、霊なる主の働きによって同じ姿へ変えられていく。彼は天の織機で織られ、このお方の従順によって精巧に作られ、このお方のみ名を信じる信仰を通して悔いた魂に着せられるキリストの義の衣を見るのである。」（信仰と行い 105-107）

### 3. わたしたちの命の光

- a. わたしたちが神の栄光だけに目を留めるとは、どういう意味ですか (ルカ 11:34; ヨハネ 8:12)。

「それだけに目を留めるとはどういうことであろうか。それはキリストを見る傾向を持つことである。なぜなら眺めることによって、わたしたちは栄光から栄光へ、すなわち品性から品性へと変えられるからである。」(ユース・インストラクター-1893年9月14日)

- b. 神はわたしたちの生活に光をもたらすために、どのような特別な知識をお用いになりますか (ヨハネ 1:4, 9; コリント第二 4:6)。
- c. イエスの生活のうちに見られたような神の栄光の光を眺めることによって、どのように、わたしたちがこのお方のうちに成長し、このお方への忠誠を果たす助けとなりますか (コリント第二 3:18)。

「もしわたしたちが一瞬でも真昼の栄光の太陽に目を向けるなら、わたしたちが自分の目を転じるときに、太陽のかたちが、眺めるすべてのものの上に現われる。そのように、わたしたちがイエスを眺めるとき、わたしたちが見るすべてのものにこのお方のみかたち、すなわち義の太陽が反射する。わたしたちは他に何も見ることができず、他に何も語ることができない。このお方のみかたちが魂の目に焼き付けられ、わたしたちの日常生活のあらゆる部分に影響し、わたしたちの性質全体を和らげ、制する。眺めることによって、わたしたちは神聖なみかたち、すなわちキリストに似た姿へと順応していく。わたしたちが交わるすべての人に、わたしたちはこのお方の義の明るく快活な光線を反射するのである。……

イエス・キリストはわたしたちにとって、すべて—最初で最後で最上—であられる。イエス・キリスト、このお方の御霊、このお方のご品性がすべてを彩る。それは縦糸と横糸であり、わたしたちの存在全体の生地そのものである。キリストの言葉は霊であり命である。そうであれば、わたしたちは自分たちの思想を自己に集中させることはできない。生きているのはもはやわたしたちではなく、わたしたちのうちに生きておられるキリストであり、このお方こそ栄光の望みなのである。自己は死んだが、キリストは生ける救い主であられる。イエスを眺め続けることによって、わたしたちは自分たちの回りすべてにこのお方のみかたちを反射する。わたしたちは自分たちの失望を考えるために、ましてそれらを語るために立ち止まることはできない。なぜなら、もっと喜ばしい光景—イエスの尊い愛—がわたしたちの目を引くからである。このお方は真理の言葉によってわたしたちのうちに宿られる。」(牧師への証 388-390)

#### 4. イエスの慈愛

- a. イエスはこの地上において出会った、実にさまざまな人類をどのように扱われましたか（使徒行伝 10:38; マタイ 14:14; 15:32）。

「キリストのような伝道者は、まだ一度も現われたことがなかった。彼は天の王であられたのに、人々のいるところに行って彼らに接するために、へりくだって人性をお取りになった。富める者にも、貧しき者にも、自由な者にも、縛られた者にも、すべての人にとって契約の使者であるキリストは、救いの音信をたずさえてこられたのである。大治癒者としての名声はパレスチナ全体にひろがった。病人は助けを求めようと、キリストのお通りになるところにきた。また彼のみ言葉を聞き、み手にふれるために、多くの者が熱心に集まってきた。こうして彼は、町から町へ、村から村へ福音をのべ伝え、病人をいやして歩かれたが、それは貧しい人間の姿をした栄光の王だったのである。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング 6, 7）

- b. イエスがユダとペテロを扱われた方法を比較しなさい（マタイ 16:23; ヨハネ 13:27; 17:12）。
- c. わたしたちにはこのお方がこの両方の弟子に、またわたしたち一人びとりのためにも全く同様に、等しい機会を提供されたという、どのような証拠がありますか（ヨハネ 13:1, 5）。

「イエスはヨハネ、ペテロ、ユダを、ご自分の働きにおいて、ご自分に連ならせ、彼らをご自分との共労者とされた。しかし、彼らは同時にキリストの教訓を絶えず学ばなければならなかった。彼らは自分たちの間違った考えやクリスチャン品性の性質についての誤った見解を正すために、このお方の神聖な教訓や指示を集めなければならなかった。ヨハネとペテロは完全な人ではなかったが、学ぶためのあらゆる機会を活かした。ペテロは、悪魔の誘惑に打ち負かされ、自分の主を否定するまで、自分に信頼しないこと、自己に用心することを学んでいなかった。ユダにもキリストのお教えになった教訓を学ぶという他の弟子たちと同じ機会があったが、彼はその価値を正しく評価しなかった。彼はただ聞く者となり、行う者とならなかった。結果は彼が自分の主を裏切ったことに見られた。」（教会への証 5 巻 557）

## 5. わたしたちの目的：イエスの愛を反射する

- a. クリスマンとして、わたしたちはどなたを世に表わすべきですか。またどのようにですか（コロサイ 1:26, 27; ペテロ第一 2:22, 23）。

「キリストがご自分に従う者たちの中に住まれるのはみことばを通してである。これは、キリストの肉を食べ、その血を飲むことによってあらわされているのと同じに生命のつながりである。キリストのみことばは霊であり生命である。みことばを受けることによって、あなたはぶどうの木であられるキリストの生命を受けるのである。あなたは、『神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』（マタイ 4:4）。あなたのうちにあるキリストの生命は、キリストのうちにあるのと同じ実を生ずる。キリストのうちに生き、キリストに固着し、キリストにささえられ、キリストから栄養分をとるときに、キリストと同じ実を結ぶのである。」（各時代の希望下巻 166）

- b. わたしたちのクリスマンの成長と成熟は、どのように人類同胞を扱う方法に表わされますか（ペテロ第一 3:8, 9; ヨハネ第一 4:7, 8; ヘブル 13:1-3）。

「注目がキリストの十字架にとどめられるとき、全存在が高尚にされる。救い主の愛の知識が魂を制し、思いを現世や感覚の事物に超越させる。現世のことをみな、十字架から輝く光のうちに評価することを学ぼう。……

すべての真の弟子たちのうちに、聖なる火のような、この愛が心の祭壇の上で燃える。神の愛がイエスを通して表されたのは、この地上においてであった。このお方の子らが、責められるところのない生活を通してこの愛を輝かせるのはこの地上においてである。こうして罪人たちは十字架へ導かれ、神の小羊を眺めるようになる。」（レビュー・アンド・ヘルド 1902年5月6日）

## 個人的な復習問題

1. 今日福音がどのように強調されるべきですか。
2. 男女に対するいくつかのキリストの愛の意味深い模範は何でしたか。
3. イエスの愛と命のメッセージは、なぜわたしにとって重要なのですか。
4. クリスマンになるとはどういう意味ですか。
5. わたしたちはどのようにして自分の周囲にいる人々に完全にキリストを反映することが出来ますか。

## 最も尊いメッセージ

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」(ヨハネ 1:29)

「心から自己を空にするとき、あなたはキリストの義を受け入れなければならない。信仰によってそれをつかみなさい。なぜなら、あなたはキリストの思いと精神を持たなければならないからである。それはあなたがキリストの働きをなすことができるためである。」(ビュー・アンド・ワールド 1892年2月23日)

推奨文献：キリストへの道 93-102

日曜日

10月6日

### 1. わたしたちの時代に繰り返される福音

- a. 神の民を聖潔へと準備させるために、100年以上前にどのような特別な真理が与えられましたか。それはどこに起源を持っていましたか(ヨハネ 17:17; テサロニケ第一 5:23)。

「主はその大いなる憐れみのうちに、ご自分の民に最も尊いメッセージを送ってくださった。……このメッセージは世の前に上げられた救い主、すなわち全世界の罪のための犠牲をもっと前面に押し出すべきである。それは保証人を信じる信仰を通しての義認を提示した。それは神のすべての戒めに対する従順のうちに表わされたキリストの義を受け入れるようにと、人々を招いた。多くの人はいエスを見失っていた。彼らは自分たちの目をこのお方の神性、このお方の功績、そして人類家族へのこのお方の変わらない愛に向ける必要があった。」(牧師への証 91, 92)

「現代のメッセージ—信仰による義認—は神からのメッセージである。それは神聖な信任状を帯びている。なぜなら、その実は聖潔だからである。」(セレクテッド・メッセージ 1巻 359)

- b. わたしたちの時代に重要不可欠な真理は何ですか。またわたしたちが希望を持つことができるために、何が要求されていましたが(ヨハネ 1:29; ローマ 5:10; 8:34)。

## 2. 義認の必要

- a. わたしたちは各々、どの真理を心に抱いているべきですか。それは特にこの終わりの時代にどのような見方においてですか（マタイ 1:21）。

「第三天使のメッセージは、第四条の安息日の提示を求めている。そしてこの真理は世の前に伝えられなければならない。しかし、偉大な魅力の中心であられるイエス・キリストが、第三天使のメッセージから取り残されてはならない。」（*セレクトド・メッセージ* 1巻 383）

「神聖な信任状を帯びたメッセージが神の民に送られてきた。キリストの栄光、大権、義、満ちみちた慈しみ深さと真理が提示されてきた。イエス・キリストにおける満ちみちた神格が、偏見によって閉ざされていないすべての人の心を魅了するために、わたしたちのうちに美しさとうるわしさを伴って明らかにされてきた。」（*ビュー・アンド・ワールド* 1890年5月27日）

「人間の唇を通して神から流れる美しい旋律—信仰による義認とキリストの義—は、〔多くの悔い改めていない教会員〕から、愛と感謝という反応を呼びださない。天の証人は彼らの前に最も高価な信仰と愛という宝石を見せておられるが、またこの方は彼らに『火で精練された金』と彼らが覆われるための『白い衣』と彼らが見えるための『目薬』をご自分から買うように招いておられるが、彼らはこのお方に対して心を鋼のように固くし、自分たちのなまぬるさを愛と熱心に替えることをしない。彼らは公言はするが、信心の力を否定する。もし彼らがこの状態でいつづけるならば、神は彼らを拒まれるようになる。彼らは自らをこのお方の家族の一員になるのにふさわしくないものとしているのである。」（*教会への証* 6巻 426, 427）

- b. イエスを天来の来賓としてわたしたちの心に歓迎するとは、どういう意味ですか（黙示録 3:20）。キリストの義のメッセージが1888年に教会の指導者たちの前に提示されたとき、何が起こりましたか。

「自分たちの前に提示された尊い真理を大いに必要としている幾人かは、その恩恵を受けないのではないかと恐れる。彼らは天来の来賓としてイエスを歓迎するために自分たちの心の戸を開かなかった。それゆえ彼らは大変な損失をこうむった。わたしたちが歩まなければならない、実に狭い道がある。一步ごとに十字架が提示される。」（*ビュー・アンド・ワールド* 1889年9月3日）

### 3. 福音に対するわたしたち個々人の必要

- a. 神はわたしが自分の救いをほかの人々に頼ることを許されないことをどの証拠が表していますか (エゼキエル 14:20)。

「品性は譲渡することができない。だれも他の人に代わって信じることはできない。他の人に代わって、聖霊を受けることもできない。聖霊の働きの実である品性を人に分与することはできない。」(キリストの実物教訓 388)

「神を愛するすべての人は、今昼の間にこそ、働くべき時であることを考えよう……今は不注意な者は、そのまどろみから目覚めるべき時である。今は魂が神のみ言葉を聞くだけでなく、一刻の猶予もせず自分たちのともし火の器に油を確保するよう嘆願すべき時である。その油とはキリストの義である。それは品性を表しており、品性は譲渡することができない。だれもそれをほかの人のために獲得することはできない。各々、すべての罪のしみから清められて品性を自分自身のために得なければならぬ。」(牧師への証 233, 234)

「一人のクリスチャンが、品性をほかの魂に与えることは、不可能である。」(彼を知るために 215)

- b. イエスがわたしたちに自分自身の個性をもって神に仕えることを望んでおられることを、どのように知ることができますか。わたしたちは「命の水」をほかの人のために飲んであげることができますか (マタイ 22:37; ヨハネ 7:37)。

「だれも代理人を通して神に仕えることはできない。この世にキリストよりも強く、自分たちが頼れるだれかがいると考えているかのようにみえる人が多くいる。そしてありのまま、まっすぐキリストの許へ来て、自らを差し控えることなくこのお方にお捧げするかわりに、彼らは人間の助けを求めて手を伸ばす。神はわたしたちが個々人の経験を持つように望んでおられる。……わたしはあなたのために品性を形成することはできないし、あなたがわたしのために品性を形成することもできないのである。」(わたしたちの高い召し 90)

「福音は個人個人を扱っている。すべての人は、救うか失うかの魂を持っている。各自は、ほかのすべての人とはべつの区別された個性を持っている。各自は自分で罪を自覚し、自分で改心しなければならない。彼は真理を自分で受け入れ、信じ、従わなければならない。彼は自分で自分の意志を働かせなければならない。だれも代理人を通してこの働きをすることはできない。だれも自分の個性をほかの人の個性に埋没させることはできない。各自は自分自身の行為と信心の奥義によって神に屈服しなければならない。」(思い、品性そして個性 2巻 423)

#### 4. イエスに戸を閉ざすことはすなわち自滅である!

- a. わたしたちの民は 1893 年に、大半の人が自分たちは天に行く準備ができていと信じていたときに、どのような欺瞞を警告されましたか。この自己欺瞞は今日どのように繰り返されていますか。そしてそれはわたしたちにどのように影響を与えるかもしれませんか (イザヤ 58:2-8; 黙示録 3:15)。

「わたしは教会に厳粛な訴えをしたい。それは教会名簿に名前の載っている人々の中で、地上の生涯を終る備えができていない人は 20 人に 1 人もなく、普通の罪人とまったく同じに世にあっても神もなく望みもないということである。彼らは口では神に仕えると言っているが、それよりもっと熱心に富に仕えている。この半々の働きは、キリストを告白するよりもキリストをたえず拒むことになる。自分自身の克服されていない精神を洗練しないままに教会に持ち込む人が非常に多い。彼らの霊的な味覚は彼ら自身の不道徳で墮落的な腐敗によって毒され、精神においても心においても目的においても世を象徴し、肉欲的な習慣はますます強くなり、彼らの自称クリスチャン生活は幾度もくりかえされる欺瞞に満ちている。罪人として生活しながら、クリスチャンと称しているのである。」(クリスチャンの奉仕 52, 53)

- b. 自分たちが天国に入ることを許されるとしたら、その品性によって天を損なう人々には、何が起きますか (マタイ 22:12-14)。

「彼らは、この地上の生涯において、キリストとの交わりにはいつていなかった。であるから、彼らは、天のことばを知らず、天の喜びを味わうことができない……

『わたしはあなたがたを知らない』という運命の宣告ほど、人の耳に悲しくひびくことばはない。あなたがなおざりにした霊の交わりこそ、婚宴の席の樂しげな群れの中にあなたを加わらせるところの唯一のものであった。その場にあなたは加わることはできない。その光は、盲目になった目には見えず、その音楽は、つんばの耳には聞こえない。世俗のためにまひした心には、その愛も喜びも、樂しいものとは思われない。人は、自分自身を天とのまじわりにふさわしくないものによって天から除外されるのである。

『さあ、花婿だ』という叫びを聞いて目をさまし、それから油のきれたあかりに油を補って、主を迎える用意をすることはできない。今、キリストとかけ離れた生活をしていながら、天ではキリストとの交わりにふさわしいものとなることはできない。」(キリストの実物教訓 389,390)

## 5. 世に対する神の最終的なメッセージ

- a. 救いの知識はどのように全世界を啓発しますか（黙示録 18:1 ペテロ第二 3:12）。

「キリストの品性が完全にキリストの民の中に再現されたときに、彼らをご自分のところに迎えるために、主はこられるのである。」（同上 47）

- b. イエスがわたしたちの世にご自分の光を輝かせることにおいて、用いるようにと命じておられるいくつかのよい働きを挙げなさい（マタイ 5:16; 25:34-40）。

「わたしたちは、飢えた者に食を与え、裸の者に着せ、家なき者に宿を与えなければならない。いや、それ以上のことをするように命ぜられている。魂の欠乏を満たすことができるのは、キリストの愛だけである。もし、キリストがわたしたちの中に宿っておられるならば、心は神からの同情と、キリストのような熱烈な愛の泉がせきを切ってわき出ることであろう。

神はわたしたちが、困っている人びとに、贈り物をするだけでなく、快活な顔をして希望にあふれたことばを語り愛のこもった親切な握手をすることを求めておられる。……世の中には、希望を失っている者が多い。彼らに、太陽の光を取りもどしてやろう。勇気のくじけた者が多い。彼らに、励ましのことばを語り、彼らのために祈りをささげよう。命のパンが必要な者もある。彼らには、聖書を読んで聞かせよう。地上の医者や薬ではいやされない心の病に苦しんでいる者もある。わたしたちは、そのような人のために祈り、イエスのところへ連れて来よう。そして、ギレアデには、乳香があ……ることを知らせよう。」（同上 393, 394）

## 個人的な復習問題

1. 100年以上前に神の民に与えられたどのような命に関わるメッセージが、イエスをわたしたちの心に天来の来賓として歓迎していますか。
2. なぜこのメッセージがこの時代の世にとって、きわめて重要なのですか。
3. わたしたちは自分の親が、友人がイエスを愛するからというだけで、天へ着くことができますか。
4. わたしはどのように、自己欺瞞を通して天を失う危険のうちにいるかもしれませんか。
5. わたしはもし自分の品性が天に属していなければ、そこに入るようなことがありますか。

## わたしたち自身の栄光をちりに伏させる

「われわれはみな汚れた人のようになり、われわれの正しい行いは、ことごとく汚れた衣のようである。われわれはみな木の葉のように枯れ、われわれの不義は風のようにわれわれを吹き去る。」(イザヤ 64:6)

「信仰による義認とは何か。それは人の栄光をちりに伏させ、人が自分の力で自分自身のためにできないことを人のためにして下さる神のみ働きである。」(牧師への証 456)

推奨文献：キリストへの道 13-21

日曜日

10月13日

1. 罪がどれほど悪いものかを悟る！
  - a. 聖書は、墮落した人間の性質のみじめさを、どのように表現していますか(ガラテヤ 5:17; ローマ 7:18-21)。
 

「人はみなキリストを通して生命を持っているが、同じようにどんな魂もキリストを通して幾らかの天の光が与えられる。どんな人の心にも、知的な能力ばかりでなく、また霊的な能力、すなわち正しいことをみわける能力、良いことをしようとする欲求がある。しかし、こうした原則に対して、一つの相反する能力が戦っている。善悪を知る木の実を食べた結果は、すべての人間の経験にあらわれている。人の性質には、悪への傾向、すなわち自力だけでは抵抗し得ない一つの力が働いている。この力に抵抗し、魂の奥底に唯一の価値を感じている理想を達成するためには、ただ一つの力に助けを求めてすがるよりほかに道はない。その力とはキリストである。この力と協力することが、人にとって最大の必要である。」(教育 21)
  - b. わたしたちのうちだれでも、その人の義の価値はどのようなものですか。またわたしたちが自分自身では無力でなし得ないことは何ですか(イザヤ 64:6; ローマ 3:12)。

## 2. わたしたちの「最善」は、キリストから離れては空である

- a. 神はわたしたちが「最善」の状態にあるときでさえ、どのようにわたしたちをご覧になりますか（詩篇 39:5, 11; イザヤ 40:17）。

「キリストの贖罪の犠牲がなければ、わたしたちのうちには神を喜ばせることのできるものは何もない。人間の生来の善は神の御目に無価値である。このお方は自分の古い性質を残し、キリストのうちにある新しい人となるために知識と恵みにおいて新たにされていない人をお喜びになることはない。わたしたちの教育、タラント、資金は、神から委託された賜物であり、わたしたちを試すためである。もしわたしたちがそれを自己満足のために用いるなら、神は『わたしは彼らをよるこぶことができない。なぜなら、キリストが彼らのために死んだのは無駄だったからである』と言われる。」（レビュー・アンド・ハラルド 1897年8月24日）

- b. わたしたちには、罪のための代価として神にお捧げできる功績が何かありますか（イザヤ 1:11; ミカ 6:7）。わたしたちの「最上の」行為でさえ、何といえることができますか（歴代志上 29:14）。

「『主は数千の雄羊、万流の油を喜ばれるだろうか。わがとがのためにわが長子をささぐべきか。わが魂の罪のためにわが身の子をささぐべきか』との問いがなされている（ミカ 6:7）。否、だれも神のみ前に自分自身の功績で立つことはできない。救われる人々は、イエスが負債をあまわず支払って下さったがゆえに救われるのである。そして人は何も、救いに価することをまったく何もできない。キリストは『わたしから離れては、あなたがたは何一つできない』と言われる（ヨハネ 15:5）。では、だれの功績であろうか。それはみなわたしたちの贖い主に属する。人の能力はすべてただキリストを通してのみもたらされるのであり、わたしたちの最上の行為について、『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』と言えただけである（歴代志上 29:14）。」（サインズ・オブ・タイムズ 1890年11月10日）

- c. わたしたちは上記の言葉を考慮して、どの態度を培うべきですか（ミカ 6:8）。

「『人は最高の状態においてもまったく虚しい』。キリストは見せびらかしなく来られた。人と同じ姿になり、自らを低くし、墮落した人類はいつも神のみ前にへりくだって歩まなければならないことを示された。富、世の誉れ、人間的な偉大さは一人の魂をも死から救うことはできない。『わたしが顧みる人はこれである。すなわち、へりくだって心悔い、わが言葉に恐れおののく者である』（イザヤ 66:2）。」（ユース・インストラクター 1900年12月20日）

### 3. 自らに信頼しないことを学ぶ

- a. エリヤは自分の祈りを神に聞いていただく前に、どの経験を経る必要がありましたか。それはなぜですか (ヤコブ 5:16-18; 列王紀上 18:43)。

「エリヤが祈っている間、僕は見張っていた。六度、彼は見張りから戻って来て言った、何もありません、雲も雨のしるしも。しかし、預言者は失望してあきらめることをしなかった。彼は自分の生活を省みて、神に誉れを帰すことに失敗したところを調べて自分の罪を告白し、こうして神のみ前に自分の魂を悩ませ続けた。そうしながら、自分の祈りが聞かれるしるしを見守り続けた。彼が自分の心を探っている間、自分自身の評価においても神の御目においても自分がますます小さくなるように思えた。彼には自分が無で、神がすべてのように思われた。そして彼が自分の唯一の力と義として救い主により頼み、自己を捨てるところまできたとき、答えがあった。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1891年5月26日)

「わたしたちの神はわたしたちの嘆願に耳を閉ざしてはおられない。そしてもしわたしたちがこのお方のみ言葉を試すなら、このお方はわたしたちの信仰を尊んで下さる。このお方は、わたしたちのすべての関心をご自分の関心に織り込むことを望んでおられる。そのとき、このお方は安全にわたしたちを祝福することがおできになるのである。なぜなら、そのとき、わたしたちは祝福が自分のものとなったときに、自己に栄光を帰すことなく、すべての讚美を神にお捧げするようになるからである。」(同上 1913年3月27日)

- b. わたしたちがイエスにますます近づき、このお方により頼むとき、何が起こりますか (ダニエル 10:8; ルカ 5:8; 黙示録 1:12-17)。

「イエスに近づけば近づくほど、ますます欠点が多く見えてくる。それは自分の目が開けて明らかになり、イエスの完全さに比べて、自分の不完全さが大きくはつきりに見えるからである。これは悪魔の惑わしの力が失われ、人を生かす神のみたまの力が働いている証拠である。

自分の罪深さを悟らない人の心には、イエスに対する深い愛もやどらない。」(キリストへの道 86)

- c. わたしたちが自らを過大評価するとき、何が起こりますか (ガラテヤ 6:3)。

「自己を高める一言によって、神のみ顔の光が隠されることになる。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1897年8月24日)

#### 4. 最高の感謝の理由

- a. わたしたちの悲惨な状態にもかかわらず、どの望みが、わたしたちにまで及んでいますか（ローマ 7:24-8:2）。

「世のあがない主は、罪のゆえに生じた世のみじめさと悲惨さをご覧になるが、なお、このお方は墮落した人類の前に、彼らの悲惨さをありありと描写してみせるのではなく、かえて彼らがこれまで聞いてきたものよりも無限にまさったものについてお教えになる。このお方は彼らの悲惨さが罪の結果であることをご存知である。そしてこのお方の心は墮落した人類に向かって同情に動かされる。ラビたちは、一般の人々に説くほど、あるいは異邦人に何らかの救いの希望を提示するほどへりくだることをしなかった。しかし、キリストはあらゆる階級の人々の前に救いの計画を提示するために来られた。なぜなら、すべての人がこのお方のみ言葉を必要としていたからである。ご自分の前に集まった人々のうちに、このお方は神のすべての子らに向かって表わされるこのお方の親のような愛のゆえに、彼らが無限の力と結びつく可能性をご覧になった。」（安息日学校の働き人 1895 年 8 月 1 日）

- b. わたしたちが自分たちの罪深い努力には、自分を救う功績がないことを認めるとき、何が起こりますか（ゼカリヤ 3:3, 4; コリント第二 12:9）。

「人が自分自身の無価値さを悟るとき、彼らはキリストの義で覆われる準備ができる。彼らが一日中神を賛美し、高め始めるとき、その時こそ彼らは眺めることによって、同じ姿へと変えられ始めるのである。」（原稿 20 卷 117）

「自分の無価値さを感じ、完全に救い主の功績により頼む魂ほど、一見無力のように見えながら、実は打ち勝ちがたいものはない。神はそのような者が打ち負かされることを許すよりは、むしろ彼を助けるために天のすべての御使を遣わされるのである。」（神のむすこ娘たち 35）

「自分の無価値なことを悟れば悟るほど、救い主の限りない純潔とうるわしさとがわかってくる。自分の罪深いことを知って、ゆるしを与えたもう救い主のもとに走りより、魂の力なさを悟ってキリストに手をのべる。すると、キリストはあらわれ、力をそえてくださるのである。必要に迫られ、キリストと神のみ言葉に近づけば近づくほど、わたしたちはキリストの品性をもっとよく知るようになり、そのみかたちをもっと十分に反映するようになる。」（キリストへの道 86, 87）

## 5. キリストは救済の使命のために来られた

- a. すべての人は救いについて、どのような基本的な点を悟らなければなりませんか (ルカ 19:10; ヨハネ 15:5; 詩篇 44:6; 31:1)。

「わたしたちが自らを救うことは不可能である。……

キリストはご自分の民が魂の敵に抵抗するのを見ることを切望しておられる。しかし、わたしたちはただ自己からイエスへと目を転じることによってのみ、こうすることが可能なのである。」(ビュー・アンド・ワルド 1896年9月15日)

「あなたが信仰によって神のみ約束をつかみ、わたしは失われた羊であり、イエスは救うために来て下さいましたという瞬間、新しい命があなたをとらえ、あなたは誘惑者に抵抗する力を受ける。しかし、約束をつかむ信仰は、感情によってもたらされるのではない。『信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのである』(ローマ 10:17)。」(同上)

「罪深い人間は、神のうちにのみ望みと義を見出すことができる。そしてだれも人間は、神を信じる信仰をもち、このお方との生きたつながりを維持していない限り、だれも義人ではないのである。」(牧師への証 367)

- b. 神はすべての人に、どのような基礎となる原則を宣言しておられますか (イザヤ 43:11; 45:21)。

「ああ、なんという愛であろう!なんという驚くべき愛であろう!わたしたちが神と和解し、このお方の栄光の住まいで共にある命へと高められることができるように、神の御子が地に遣わされ、わたしたちのために罪とされたとは。そして、ああ、このような価がその贖いのために支払われた人とは、いったい何者であろうか。」(サイズ・オブ・タイムズ 1879年8月28日)。

## 個人的な復習問題

1. わたしたちは自分自身のために、はっきりと何ができませんか。
2. なぜキリストから離れたわたしたちの「最善」は、十分ではないのですか。
3. わたしたちがイエスを完全に信頼することができる前に、だれを信頼しないことを学ばなければなりませんか。
4. わたしたちはキリストを愛する深く落ち着いた愛を発達させるのに先立って、何を悟らなければなりませんか。
5. あなたは神にとってどれほどの価値がありますか。

## 愛：義の本質

「神は愛である。」(ヨハネ第一 4:16)

「義は愛であり、そして愛は神の光であり、命である。神の義はキリストの中に具体化した。わたしたちはキリストを受け入れることによって義を受けるのである。」(祝福の山 22)

推奨文献：キリストへの道 22-44

日曜日

10月20日

### 1. 大いなる戒め

- a. クリスマン生活において、愛は神の律法との関係において、どのように重大な意味をもっていますか(マタイ 22:36-40)。

「服従ということは、単なる外面だけの服従ではなく、むしろ愛の奉仕をさすのである。神のおきては神のご品性そのものを表現したものであり、愛の原則を具体化したものであるから、天にあっても地にあっても神の政府の基礎である。わたしたちの心が神のみかたちに似て新しくされ、神の愛が心のうちに植えつけられるならば、神の律法は日々の生活に実行されるのではないだろうか。」(キリストへの道 78)

- b. どのように使徒ヨハネは神のご品性を要約しましたか。またこのお方のご品性は義とどのように関連していますか(ヨハネ第一 4:16; 詩篇 11:7)。

「義は聖であり、神に似ることである。そして『神は愛である』(ヨハネ第一 4:16)。義は神の律法にしたがうことである。なぜなら『あなたのすべての戒めは正しく、愛は律法を完成するものである』からである(詩篇 119:172; ローマ 13:10)。義は愛であり、そして愛は神の光であり、命である。神の義はキリストの中に具体化した。わたしたちはキリストを受け入れることによって義を受けるのである。」(祝福の山 22)

## 2. 外面的な遵守か、あるいは心からの従順か

- a. 主はどのような種類の奉仕を望んでおられますか（申命記 6:5; ヨシュア 24:15）。

「暴力の行使は神の統治の原則に反する。神は愛の奉仕だけを望まれる。愛を命令することはできない。暴力や権威によって愛を手に入れることはできない。愛は愛によってのみめざませられる。神を知れば神を愛するようになる。神のご品性がサタンの品性と対照的に示されねばならない。この働きは全宇宙でただひとりのおかただけができた。神の愛の高さと深さを知っておられるおかただけが、その愛を知らせることがおできになった。世の暗い夜に、義の太陽キリストが翼には、いやす力をそなえて」昇られねばならない（マラキ書 4:2）。」（各時代の希望上巻 4, 5）

「弟子たちがキリストに従うのは、罰を恐れるとか、永遠の報いを望むからではない。彼らは、ベツレヘムの馬ぶねからカルバリーの十字架にいたるまで、この地上における旅路を通じてあらわされた救い主の比類のない愛を見る。そのキリストのお姿が彼らをひきつけ、魂をやわらげ、征服するのである。イエスを仰ぎ見る者の心のうちに愛がめざめる。彼らはみ声を聞き、イエスに従うのである。」（同上中巻 279）

- b. 心からの自発的な喜ばしい従順とは対照的に、クリスチャンだと公言するある人々はどのような種類の従順を神にお捧げしていますか（申命記 28:45-47; ヨハネ第一 5:3）。

「キリストはすべての人をご自分に引き寄せるために十字架上で死なれた。そしてこのお方はご自分だけが与えることのできる喜び、すなわち従順の喜びのうちにわたしたちが喜ばしくあることを望んでおられる。」（説教と講和 1 巻 217）

「神の戒めは、従うべきものであるという、単なる義務の観念をもって守ろうとする人は、従順の喜びを味わうことができない。このような人は、従っていないのである。神の戒めは、人間生来の傾向に反するもので重荷であると感じるようでは、クリスチャン生活を送っていないことがわかるのである。真の従順は、内部に秘められた原則が、外にあらわれ出ることである。それは、義と神のおきてを慕う愛から発するのである。あらゆる義の本質は、わたしたちのあがない主に対する忠誠である。この忠誠心が、わたしたちに、正しいことであるからという理由で正しい行ないをさせ、善行は、神が喜ばれることであるからという理由で義を行なわせるのである。」（キリストの実物教訓 72）

### 3. 真の愛を特定する

- a. 神を真に愛する人々の生活には、何が見られるようになりますか（ヨハネ第一 3:10; 4:20, 21）。

「愛は信心の基礎である。たとえ、口でなんと言おうと、もし、兄弟に対する無私の愛をもたないならば、神に対する純粹の愛をもっていない。しかし、他人を愛そうと努めることによって、この精神を得ることはできない。必要なのは、心の中にキリストの愛が宿ることである。自己がキリストの中にとけこむとき、愛は自然にわいて出る。他を助け、祝福しようとする気持ちが常に内からわき出て、天からの光が心にあふれ、顔に表わされるとき、クリスチャンの品性が完成の域に達するのである。」（同上 362）

- b. 真の愛によって表される特質のいくつかを述べなさい（コリント第一 13:4-7）。

「真の愛は強い、火のような、激しい感情ではない。反対に、それはその性質において静かで深い。それは単なる外面の先を眺め、ただ資質によってのみ惹かれる。それは賢明で識別力があり、その献身は真実であり永続的である。神は日常生活の普通のできごとによってわたしたちをテストし、試される。心の章を明らかにするのは、小事である。人生を幸福にするのは、小さな心遣い、生活上の数知れない小さなできごとや単純な礼儀である。そして人生をみじめなものにするのは、親切な励ましとなる愛情深い言葉や生活上の礼儀の怠慢である。最終的に、わたしたちのまわりにいる人々の益と幸福のために自己を否定したことが天にある人生の記録の大部分を占めていることがわかるであろう。そしてまた他の人々の益や幸福に関係なく、自己を大事にすることが、天父の注意からもれることはないという事実も明らかにされるのである。……

愛は行為なしに生きることはできない。そして一つ一つの行為によって、それは増し加わり、強められ、広がるのである。愛は議論や権威が無力なときに、勝利を得る。愛は利益や報いのために働かない。しかし、神はすべての愛の労のしかるべき結果が大いなる利益となることをお定めになった。愛はその性質において広がりやすく、その働きにおいて静かでありながら、大きな悪に打ち勝つというその目的において強力で、ちから強い。それは溶かし、変化させる感化力をもち、また他のどの手段でも成功できないときに、罪深い人間の命をつかみ、彼らの心に影響を及ぼすのである。」（教会への証 2 巻 133-135）

#### 4. 愛の律法を生きる

- a. わたしたちのためのキリストの自己犠牲の光に照らすとき、どの律法あるいは原則がクリスチャン生活の中心となりますか（コリント第二 5:14, 15; コリント第一 13:5）。

「神のみたまが人をめざめさせるふしぎな力をもって魂にふれるとき、人間の誇りは低くされる。世の楽しみ、地位、権力は無価値にみえる。『神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ』る（コリント第二 10:5）。その時、人々に重んじられていない謙遜と自己犠牲の愛が唯一の価値あるものとして高められる。」（各時代の希望上巻 151）

「カルバリーの光に照照してみても、おのを捨てる愛の法則が天と地の生命の法則であること、『自分の利益を求め』ない愛はそのみなもとが神の心にあること、柔和で心のへりくだったおかたのうちに、だれも近づくとことのできない光のうちに住んでおられる神のご品性があらわれていることなどがわかるであろう。」（同上 2）

- b. 自己犠牲の愛の生活を送るためには、日々何が要求されますか（ルカ 9:23）。

「イエスを自分の個人的な救い主として受け入れるすべての魂は、神に仕える特権をあえぎ求め、自分の能力を神への奉仕に献身することによって自分の感謝を表現する機会を熱心につかむ。彼はイエスとイエスが買われた所有物への自分の愛を示したいと切望する。彼は骨折り、困難、犠牲を切望する。彼は自己を否定し、十字架を担い、キリストの御足の跡に従い、こうして自分の忠誠と愛を示すことを特権だと考える。」（牧師への証 394）

「自己否定と十字架はわたしたちの分である。わたしたちはそれを受け入れるであろうか。わたしたちのうちだれも最後の大きな試練がわたしたちに臨むときに、自己犠牲や父祖たちの精神が、必要とされているからといって一瞬のうちに発達することを期待するには及ばない。否、実に、この精神はわたしたちの日々の経験に混ぜ合わされ、教訓と模範によってわたしたちの子らの思いと心に吹き込まれなければならない。イスラエルの母親たちは、自ら兵卒ではないかもしれないが、全身を武器で固め、雄々しく主の戦いを戦う兵卒を育てることができる。」（教会への証 5巻 135）

## 5. 真の弟子のしるし

a. 何が真の弟子のしるしですか (ヨハネ 8:31; 14:15)。

「従順すなわち愛よりでた奉仕と忠誠は、でしであることの真のしるしである。……人を従順から解放する代わりに、信仰—ただ信仰のみがわたしたちをキリストの恵みにあずからせ、服従することができるようにするのである。」(キリストへの道 79)

b. 真の従順とはどういう意味ですか。またそれはどこからわきおこりますか (ローマ 5:5; 13:10)。

「神の恵みによって新しくされた心のうちでは愛が行為の原則となる。愛は性格を改変し、衝動を支配し、欲情を制し、また敵意をおさえ、愛情を高尚にする。この愛が心のうちに秘められ、あたりに高貴な感化を及ぼすのである。」(同上 77)

「すべての真の服従は心から生れる。キリストにとってはそれは心の働きであった。もしわれわれが承知するなら、キリストはわれわれの思いやころぎしと一体となり、われわれの心と思いとを一つにしてご自分のみこころに一致させてくださるので、キリストに従うときに、われわれは自分自身の衝動を実行しているにすぎない。意志は洗練され、きよめられて、主のご用をなすことに最高のよろこびをみいだす。神を知ることはわれわれの特権であるが、このように神を知るときに、われわれの生活は変わることはない服従の生活となる。キリストのご品性の真価を認めることによって、神とまじわることによって、罪はわれわれにとって憎むべきものとなる。」(各時代の希望下巻 150)

## 個人的な復習問題

1. イエスはマタイ 22 章で、神の律法におけるどの鍵となる要素を提示しておられますか。
2. 外面的な遵守と真の従順の違いを説明しなさい。
3. わたしたちのクリスチャン品性の発達には、いつ完成しますか。
4. キリストを受け入れた人々にある奉仕に対する態度を述べなさい。
5. キリストはどれほどご自分に従う人々の従順とご自分を緊密に同一視しておられますか。

## 第一安息日献金

ミッションフィールドの文書のために

21世紀、インターネットや電子書籍また他のメディアが福音を広める近代的な手段ではありますが、一方まだ他の種類のメディアにとって代わることのできない用途の広い独特な方法があります。電気を使わない印刷されたページというのは、地の最果てにまで福音を届けるための最も効果的な方法の一つです。この手段によって良き知らせは、かつての共産圏、無神論、そしてイスラム教の国々へも浸透し、一対一を基本として伝えることができます。主の僕は次のように言っています。「聖書の真理を記した出版物を秋の木の葉のようにまきなさい」（天国で 323）「わたしたちの出版物はどこへでも行き渡らなければならない。多くの言語で発行しなさい。第三天のメッセーはこの媒介を通して、また生ける教師を通して伝えられなければならない。この時代のための真理を信じるあなたがたは、目覚めなさい。真理を理解する人々がそれを宣布するのを助けるために可能な限りの資金を持ちこむのは、今のあなたの義務である。」（教会への証 9 卷 62）



「告げ示し（出版し）、ほめたたえて言え、『主はその民イスラエルの残りの者を救われた』（エレミヤ 31:7）。神の民、イスラエルの残りの者は、救いの良き知らせを出版しなければなりません。多くの国々で、わたしたちには聖書や書物や伝道のためのパンフレットなどが豊かに供給されています。しかし世界中には同じ特権を持っていない多大な群衆がいます。世界のさまざまな地方へ向けて文書の配布を支えることはわたしたちの義務であり、誉れです。聖書は多くの言語や方言に翻訳されてきましたが、まだキリストへの道や各時代の争闘など重要な書物を、何百万もの人は手に入れることができません。もしわたしたちが今日の現代の真理を調べる人々に安息日聖書教科を分かちことができらばどうでしょう。

まだ改革のメッセージが入っていない太平洋諸島やアフリカの国々のことを考えて下さい。伝道の書 11:1 にある「あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである」との約束を覚えましょう。わたしたちは遅くならないうちに神のみ言葉を広めなければなりません。わたしたちは直ちに結果を見ることはできないかもしれませんが、後の雨が満ちみちて降るときの大収穫を目撃することができるのはそれほど先のことではありません。この地上にではなく、天に宝を蓄える賢明な管理者になりましょう。

わたしたちは過去に献金してくれた各地の兄弟姉妹友人たちにとっても感謝しています。しかし今、かつてなかったほど必要は大きくなっています。ですから、この働きに惜しみなく献金しようではありませんか！

世界総会出版支部

## わたしたちの神の律法の必要

「このようにして律法は、信仰によって義とされるために、わたしたちをキリストに連れて行く養育掛となったのである」(ガラテヤ 3:24)

「キリストの栄光は、律法、すなわちこのお方のご品性の写しに表されている。そしてこのお方の変える力は、人がこのお方に似たかたちへ変えられるようになるまで魂に感じられるのである。」(ビュー・アンド・ヘルド 1902年4月22日)

推奨文献：キリストへの道 73-87

日曜日

10月27日

### 1. 罪の知識

- a. だれのために神の律法はつくられましたか。何の目的のためですか。どれくらいの人が、その罪の宣告の下にいますか(テモテ第一 1:8-10; ローマ 3:19, 23)。
- b. 神の律法を守ろうとするわたしたち自身の努力は、なぜ神のみ前にわたしたちを義認するのに十分ではないのですか(ローマ 3:20; 7:7; ピリピ 4:13)。

「律法を守ろうとする自分自身のわざによって天へ行こうと努力している人は、不可能なことを試みているのである。人は従順なしに救われることはできないが、その働きは彼自身のものであってはならない。キリストが彼のうちに働いて願いを起こさせ、かつ神に喜ばれることを実現に至らせて下さらなければならない。もし人が自らを自分自身のわざによって救うことができるのであれば、彼は自分の中に何か喜ぶべきものを持っていることであろう。人が救いを獲得するために自分自身の力で払う努力はカインの捧げ物によって表されている。人がキリストなしにできることはみな、利己心と罪によって汚れている。しかし、信仰を通してなされることは神に受け入れられる。わたしたちがキリストの功績を通して天国を得ようと求めるとき、魂は進歩を遂げる。わたしたちの信仰の創始者であり完成者であられるイエスをあおぎ見つ、わたしたちは力から力へ、勝利から勝利へ進むことができる。なぜなら、キリストを通して神の恵みがわたしたちの完全な救いをなしとげて下さったからである。」(レクテッド・メッセージ 1巻 364)

## 2. わたしたちの養育掛としての律法

### a. ガラテヤ書に言及されている養育掛とは何ですか (ガラテヤ 3:21-25)。

「キリストへ連れていくための養育掛は、どの律法であろうか。わたしは、礼典律と十誡の道德律の両方だと答える。」(セクレット・メッセージ 1巻 233)

### b. 養育掛としての律法はどの働きをしますか。また何の目的のためですか (ローマ 10:4)。ヤコブ 5:11 やペテロ第一 1:9 に用いられている「結末／結果 (end)」という言葉 (ギリシャ語ではテロス、すなわち目的、目標、視野にある結果の意) を比較しなさい。

「罪人が道德を調べる偉大な鏡を見るとき、自分の品性の欠点を知る。彼は自分をありのままのすがた、すなわちしみがつき、汚れて、有罪宣告を受けている姿を見る。しかし、彼はいかなる方法によっても律法が有罪宣告を取り消したり、違反者を許したりすることはできないことを知っている。彼はその先を行かなければならない。律法は彼をキリストへ連れていく養育掛にすぎない。彼は罪を許す自分の救い主を見なければならぬ。」(同上 213)

### c. 「養育掛」とイエスを信じる信仰の間にはどのような関係が存在しますか (ローマ 5:1; 3:31; 8:3, 4)。

「律法はわたしたちに罪を明らかにし、キリストの必要を感じさせ、神への悔い改めとわたしたちの主イエス・キリストへの信仰を働かせることによって、許しと平安を求めてキリストの許へ逃れさせるのである。」(同上 234)

「ただ、キリストを信じる信仰によって、罪から清められ、創造主の律法に従うことができるようになるのである。」(患難から栄光へ下巻 112)

「律法と福音は完全に調和している。各々が互いに支え合っている。律法はその大権をあますことなく働かせて良心に対決し、罪人に罪のあがないの供え物としてのキリストの必要を感じさせる。福音は律法の力と不変性を認める。『律法によらなければ、わたしは罪を知らなかった』とパウロは宣言している (ローマ 7:7)。律法によって心に痛感させられる罪の自覚は罪人を救い主に駆り立てる。自分の必要のうちに彼はカルバリーの十字架によって備えられた力強い論拠を提示することができる。彼はキリストの義をわがものと主張することができる。なぜなら、それはすべての悔い改める罪人に与えられるからである。」(ビュー・アソッド・ヘラルド 1902年4月22日)

### 3. 古い契約と新しい契約

- a. ご自分の律法をシナイでイスラエル人にお与えになった神のご目的は何でしたか。またこの律法の下における命のための条件は何でしたか（出エジプト記 20:20; レビ記 18:5; ローマ 10:5）。

「シナイから律法が宣布されたとき、神は人にご自分のご品性の聖潔を知らされた。それは対比によって彼らが自分自身の罪深さを悟ることができるためであった。律法は彼らに罪を自覚させ、救い主の必要を明らかにするために与えられた。それはその原則が聖霊によって心に適用されるときに、その働きをなすのである。この働きはまだなされなければならない。キリストの生涯のうちに律法の原則は明白にされた。そして神の聖霊が心に触れるとき、すなわちキリストの光が人にキリストの清めの血とこのお方の義認する義の必要を明らかにするとき、律法は今も信仰によって義とされるためにわたしたちをキリストに連れていく代理人である。」（*ザインズ・オブ・タイムズ* 1910年3月29日）

- b. なぜイスラエルは神の律法に対して大変な熱心さを公言したにもかかわらず、それを守らなかったのですか（ローマ 10:3）。

「イスラエルは律法の霊的な性質を自覚しなかった。そしてあまりにもしばしば彼らの公言する従順は、心を愛の統治に明け渡すというよりは、形式や儀式の遵守にすぎなかった。」（キリストを映して 67）

- c. 新しい契約が立てられた「さらにまさった約束」とは何ですか（ヘブル 8:6; エレミヤ 31:33, 34）。

『新しい契約』は、『さらにまさった約束』によるもので、罪のゆるしの約束と、心を新たにする神の恵みと、神の律法の原則に心を一致させる約束によるのである。……

石の板に刻まれたのと同じ律法が、聖霊によって心の板に書かれるのである。自分自身の義を確立させようと努力するかわりに、われわれは、キリストの義を受け入れる。キリストの血がわれわれの罪を贖うのである。キリストの従順が、われわれに代わって受け入れられる。こうして、聖霊によって新しくされた心は、「御霊の実」を結ぶのである。キリストの恵みによって、われわれは心に書かれた神の律法に従って生きるのである。キリストのみ霊を持っているから、彼が歩かれたように歩くのである。」（*人類のあけぼの上巻* 442, 423）

#### 4. 律法一品性の尺度

##### a. 何が品性の唯一の尺度ですか (ヤコブ 2:8-12)。

「神の律法は品性を測る唯一の真の標準である。キリストはご自分の生涯と教えによって、またご自分の聖なる品性によって、何が律法への従順を意味するかを世に示された。このお方は人の模範であられた。しかし、人は自分自身で標準を打ち立てることはできない。人は神の無限の純潔さについて無知である。そして神聖な啓示がなければ人は神の律法の聖なる強制力を正しく評価することができない。彼は神の律法の妥協しない性質について無知である一方、自分の欠点のある罪深い品性について無頓着である。彼は何も恐れず、何の不安もない。それは彼が自らを偽りの標準で測っているからである。」(ビュー・アソ・ハルド 1890年11月18日)

##### b. 神のご品性がわたしたちの思想や行為に表されるかどうかは、何が決めますか(マタイ 22:36-40; ローマ 13:10)。

「心が墮落した人類への同情で満ちている人、キリストのような行為の実行によってその愛を表す人だけが、見えないお方を見ることに耐えられるのである。御父がそれほどまでして下さった人々を愛さない人は、神を知らない。神学はキリストの愛で満たされるのでない限り、無価値である。真のキリスト教は存在全体から愛を放散する。それはすべての生きた部分一脳、心、助ける手、足一に触れ、足なえが道から転じることのないように、神が立つように要求されるところにしっかりと立つことができるようにさせる。滅びつつある魂に対するキリストの燃える熱烈な愛が、キリスト教の全体系の命である。」(サインズ・オブ・タイムズ 1910年5月10日)

##### c. キリストを信じる本物の信仰を持っている人々の生活に何が見られるようになりますか (ヤコブ 1:22-27)

「信仰は愛によって働き、魂を清める。信仰は芽を出し、花を咲かせ、貴重な実の収穫をみのらせる。信仰があるところには、良いわざがあらわれる。病人は訪問され、貧しい人がかえりみられ、孤児ややもめはなおざりにされず、裸な者は着せられ、欠乏しているものは養われる。」(セクレット・メッセージ 1巻 398)

## 5. イエス・キリスト、実生活における律法

- a. キリストは神の律法に対して、どのような態度を表されましたか（マタイ 5:17-20）。

「イエスは律法の成就の生ける例証であられた。しかし、このお方がそれを成就されたことは、律法を廃止や消滅を意味するのではなかった。律法を成就することによって、このお方はその要求をすべて詳細に実行なさったのである。」（サイン・オブ・タイムズ 1895年3月14日）

「キリストはご自分の教えにおいて、シナイから語られた律法の原則がどれほどの範囲まで及ぶかを示された。このお方はその原則がとこしえに偉大な義の標準—裁き主が座に就かれ、書物が開かれる大いなる日にすべての人を裁く標準—であり続ける律法の生ける実例であられた。」（神の驚くべき恵み 141）

- b. キリストが人類にとって神の律法の生ける実例であられたことを何が示していますか（ペテロ第一 2:21, 22; ヨハネ 15:10; ヨハネ第一 2:6）。

「キリストの栄光はそこご品性である。そしてこのお方のご品性は神の律法の表現である。このお方はすべての詳細において律法を成就し、ご自分の生涯のうちに、人性が神性との協力によって到達できることの完全な模範を世に残された。ご自分の人性においてキリストは御父により頼まれたが、それはちょうど人性が今品性の完全を得るための神聖な力を求めて神により頼むのと同じである。」（サイン・オブ・タイムズ 1895年12月12日）

## 個人的な復習問題

1. 古い契約はだれの約束に基づいていましたか。
2. 新しい契約はだれの約束に基づいていましたか。
3. わたしたちを神へ従順なものとするのはだれですか。
4. 今日、もしわたしたちが神の約束よりも自分自身の約束により頼んでいるとすれば、わたしたちは古い契約の下で活動しているのですか。
5. 何によって聖書の英雄たちは、自分がイエスを必要としていることを悟るようになりましたか。

## その律法のうちに表されたキリストの義

「そして、あなたがたは自分自身が、わたしたちから送られたキリストの手紙であつて、墨によらず生ける神の霊によって書かれ、石の板にはなく人の心の板に書かれたものであることを、はっきりとあらわしている。」(コリント第二 3:3)

「モーセの顔に輝いていた栄光は律法におけるキリストの義の反映であつた。」(セクレット・メッセージ 1巻 237)

推奨文献：キリストへの道 43-48

日曜日

11月3日

### 1. 神の律法を拡大する

- a. モーセは神の栄光をながめたときに、何を悟りましたか (出エジプト記 33:18, 19; 34:5-7)。

「神は、神の子らに完全を求められる。神の律法はご自身の品性の写しであり、またすべて品性の標準である。神がどのような人びとによってみ国を構成なさるかについてだれもまちがいをしないように、この永遠の標準がすべての者に与えられている。キリストの地上生活は神の律法の完全な表現であつた。そして自分は神の子であると表明する者の品性がキリストのようになれば、彼らは神の戒めに従うのである。そのとき主は、天の家族を構成する一員として彼らを信頼することがおできになる。」(キリストの実物教訓 294)

- b. 神の律法に関連して、何がイエスの使命でしたか (詩篇 40:8; イザヤ 42:21 コリント第二 4:6)。

「キリストがこの世にこられたのは、〔神〕の栄光をあらわすためであつた。神の愛の光をあらわすために、すなわち『われらと共にいます』神となるために、キリストは、罪のために暗くなったこの地上においでになつた。」(各時代の希望上巻 1)

## 2. 神のご品性の栄光

- a. わたしたちはキリストが人の肉において表された神の律法であられることを理解するようになる時、何が起こりますか（コリント第二 5:17）。

「眺めることによって、わたしたちは変えられ、道徳的にご品性において完全であられるお方に同化するようになる。このお方の着せられる義を受け入れることによって、聖霊の変える力を通して、わたしたちはこのお方ようになる。キリストのみかたが大事にされ、それが存在全体をとらえる。

キリストのようになることを目的にキリストをながめるとき、真理を求める探求者は神の律法の原則の完全さを見る。そして、彼は完全以外は何も満足しなくなる。自分の命をキリストの命のうちに隠し、彼は聖なる律法の聖潔がキリストのご品性のうちに表されていることを見て、ますます熱心にこのお方ようになろうと奮闘する。誘惑者が一人の臣民を失いつつあることを知るために、いつでも戦いが予期されることであろう。サタンが自分自身の目的のために強めてきた特質に対する戦いをたたかわなければならない。人間の代理人は自分が一キリストが差し出しておられる完全を達成するという考えに反対する異質の力に対して戦わなければならないことを悟る。しかし、キリストと共にいるとき、その戦いにおいて彼のために勝利を得る救いの力がある。」（パウル・コムリ [E. G. コムリ] 6巻 1098）

「もしすべての人が、御座の前におられるキリストが彼らの祈りを待ち、彼らが自分たちの意志を明け渡すのを待っているのを見ることができれば、自分たちの反逆をやめて、神への忠誠に戻り、深い悔い改めのうちに神の律法を犯したこと、また他の人々がエホバの律法を軽んじるような感化力を働かせたことを許して下さるように御父に祈ることであろう。敵軍の同盟は、彼らの遅延のゆえに勝利を得つつある。」（わたしたちの御父はかえりみられる 266）

- b. わたしたちの品性はどのように変えられますか（ヘブル 12:2）。民数記 21:8 とヨハネ 3:14, 15 を比べると、わたしたちからはどのような行動が要求されていますか（ヨハネ 6:37, 54-56）。

「モーセに、神のご品性が神の栄光として表された。同様に、わたしたちはキリストのご品性をながめることによって、キリストの栄光をながめるのである。……

そうであれば、なぜ、教会内においてこれほどにも愛の欠如、真実で、人の徳を高め、聖化し、高尚な同情の欠如、また優しい同情と愛情深い寛容の欠如があらわれているのであろうか。それはキリストが絶えず民の前に示されていないからである。このお方のご品性の特質が実生活に持ち込まれていない。男女は天から下ってくるパンであられるお方を食していない。」（原稿リ-ス 9 巻 296, 297）

### 3. 二つの違う務め

- a. 「罪を宣告する務」と「義を宣告する務」の違いは何ですか（コリント第二 3:1-3, 6-9）。

「アダムの墮落した人類は、この〔神の聖なる律法の〕契約の文字の中に、死の務以外には何も見る事ができない。そして律法の要求を満たす自分自身の義を形作ろうとむなしく求めているすべての人の報いは死なのである。」(サイズ・オブ・タイム 1892年9月5日)

「キリストはご自分が来られたのは神の律法の要求を廃するためだと言われたことは一度もない。反対に、ご自分の教会への一番最後のメッセージにおいて、パトモス島を經由して、このお方はご自分の御父の律法を守る人々に祝福を宣言しておられる。『このお方の戒めを行う人々はさいわいである』(黙示録 22:14 英語訳)。(同上 1886年7月29日)

- b. パウロはキリストを拒んだユダヤ人の無知の覆いをどのように描写しましたか（ローマ 9:31, 32; 10:3）。

- c. 覆いはどのように取り除くことができますか（コリント第二 3:13-16）。

「モーセの顔に輝いていたのは、キリスト、すなわち犠牲制度の基礎であられたお方の福音の栄光の光であった。〔コリント第二 3:7, 8 引用〕。現実には、真昼の満ちみちた燃えるような輝きがあくときには、後に来るものの兆しにすぎなかったおぼろげな栄光は過ぎ去り、より大きな栄光に飲み込まれてしまう。」(同上 1887年8月25日)

「儀式は、生きた信仰によってキリストとつながっていないかぎり、何の価値もなかった。道徳律でさえ、それが救い主との関連において理解されないかぎり、その目的を達しない。天父の律法には単に権威のある命令よりもっと深い何ものかが含まれているということ、キリストはくりかえし示された。律法には、福音にあらわされているのと同じ原則が具体的にあらわされている。律法は人の義務を指摘し、その不義を示す。人は罪のゆるしと、律法に命じられていることを行なう力をキリストに求めなければならない。」(各時代の希望下巻 58, 59)

## 4. 栄光からより大いなる栄光へ

- a. 神の律法のうちに表されている神のご品性は、どのようにもっと完璧にまた完全にキリストの生涯を通して表されましたか(コリント第二 3:9-11)。このことによって、わたしたちは神の律法に従って行動することを求める際に、何を考えるべきですか。

「民として、わたしたちは自分たちが露も雨もなかったギルボアの丘のように渇くまで、律法を説いてきた。わたしたちは律法のうちにキリストを説かなければならない。そうすれば飢えた神の群れに食物となるものを説くことによって活力も栄養もあるようになる。わたしたちは自分自身の功績にはまったく信頼せず、ナザレのイエスの功績に信頼しなければならない。わたしたちの目は目薬を塗られなければならない。わたしたちは神にちかづかなければならない。もしわたしたちが神ご自身の方法で近づくならば、このお方はわたしたちに近づいて下さる。」(レビュー・アソッド・ハート 1890年3月11日)

「律法自身には栄光はない。ただ、そのうちにキリストが具体化されているのである。」(レクテッド・メッセージ 1巻 237)

「イエスは律法の成就の生ける例証であられた。しかし、このお方がそれを成就されたことは、律法の廃止や消滅を意味するのではなかった。律法を成就することによって、このお方はその要求をすべて詳細に実行なさったのである。」(サイン・オブ・タイムズ 1895年3月14日)

- b. 「キリストの手紙」は、どのように神の道德律が石板に記されただけの時よりも、さらに栄光に満ちたものとなりますか(エレミヤ 31:31-33; コリント第二 3:3)。

「パウロは、自分の兄弟たちが罪を許される救い主の偉大な栄光がユダヤ人の制度全体に意味を与えていることを悟るように望んだ。彼はまたキリストが世に来られたとき、人間の犠牲として死なれ、型が本体に合ったことを理解するように望んだ。

キリストが罪の供え物として十字架上で死なれた後、礼典律はもはや効力を持たないのであった。しかし、それは道德律とつながっており、栄光に満ちたものであった。全体は神性の印を帯び、神の聖潔、正義、義を表現していた。そして、もし過ぎ去るべき時代の務が栄光に満ちたものであるならば、キリストが表され、ご自分の命を与え、聖化させる御霊を信じるすべての者にお与えになるときの本体はどれほどまさって栄光に満ちたものであろう。」(レクテッド・メッセージ 1巻 237, 238)

## 5. このお方の栄光を反映する

- a. わたしたちの注意が神の栄光に焦点を合わせるとき、何が起こりますか（コリント第一 15:49; ローマ 12:2）。

「キリストを表すとき、わたしたちは神を世に表すのである。……わたしたちは教会において世の前にイエス・キリストのご品性を反映しているであろうか。」（セレクトド・メッセージ 3 巻 170）

- b. 人がキリストのうちにある律法の義を受け入れるとき、何が起こりますか（ローマ 8:4, 9-13）。心と愛情を変える力を述べなさい（マタイ 13:33）。

「〔キリストは〕御国の福音を例証するのに、パン種をお用いになった。このパン種をもって、神のみ言葉、真の信心、義、平和がもたらされた。これは愛情全体を神の思いとご意志へ一致させる。それが行くところはどこでも、真理のパン種は思いと心に変化をもたらした。品性全体が変えられる。心にイエスのうちにあるがままの真理を受け入れるすべての人は、そのパン種の力を表すのである。天の王国が心に設立されるとき、品性全体はキリストのご品性に一致する。なぜなら、真理は命を与える原則だからである。神の力がパン種のように働き、存在全体を制する。思いでさえもキリストのご意志にとらえられる。『だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである』（コリント第二 5:17）。」（ビュー・アンド・ハルド 1897年9月21日）

## 個人的な復習問題

1. あなたが神の律法を見るとき、なにがわかりますか。
2. 神の律法に関して何がキリストの使命でしたか。
3. 今日、どのようにより大きな神のわざの栄光が、わたしたちに影響を与えるべきですか。
4. わたしたちが十誡の律法のうちにキリストを見るとき、何が起こりますか。
5. あなたが神の栄光に焦点を合わせるとき、あなたの心のうちに何が起こりますか。

## 芳しい香りのような品性

「しかるに、神は感謝すべきかな。神はいつもわたしたちをキリストの凱旋に伴い行き、わたしたちをとおしてキリストを知る知識のかおりを、至る所に放って下さるのである。」(コリント第二 2:14)

「品性は力である。真実で無我の信心深い生活の無言のあかしは、どんな人をも感化しないではおかない力を持っている。わたしたちの生活の中に、キリストの品性をあらわすことによって、わたしたちは、救霊の働きをキリストと共にするのである。」(キリストの実物教訓 316)

推奨文献：青年への使命 419-425

日曜日

11月10日

### 1. 恵みの雰囲気

- a. 神のどの特質が、わたしたちの救いの基盤ですか。そして、それはどのように表されてきましたか(エペソ 2:8, 9; ローマ 5:20, 21)。

「神は、み子という比類なき賜物を与えて、ちょうど空気が地球の回りを取りまいているように、恵みの雰囲気ですべての世界をつつまれた。このいのちを与える空気を吸いたいと望む者は、だれでもいきることができ、キリストにある全き人となることができるのである。」(キリストへの道 90, 91)

- b. 神の恵みの引き寄せる力に応える人々に、何が起こりますか(ヨハネ 12:32; エペソ 2:10)。

「罪人がキリストの力に引きつけられて、高く掲げられた十字架のそばにいき、そこにひれ伏すときに、新しい創造が行なわれるのである。彼は、キリスト・イエスにあつて新しく造られた者となる。」(キリストの実物教訓 143)

## 2. 神の知識の芳香

- a. 犠牲制度の律法の下に生きていた人々が燔祭を捧げたとき、何が香りを、神への香り「香ばしいかおり」もしくは「かんばしいかおり」としましたか（出エジプト記 29:18; エペソ 5:2）。

「〔キリストの〕捧げ物は完全である。そして、わたしたちの仲保者として、このお方は神のみ前に、ご自身のしみのない功績と神の民の祈り、告白、そして感謝の入った香炉を持って神のみ前で、ご自身の定められた働きを実行される。

このお方の義という芳香にかおり、これらは神のみ許に香ばしいかおりとして立ち上る。捧げ物は、完全に受け入れられるものである。そして許しがすべての不義を覆うのである。」（*サインズ・オブ・タイムズ* 1900年2月14日）

- b. 神は、キリストについて無知な人々に対し、かんばしいかおりとして、ご自身の知識をあらわすために、何をお用いになりましたか（コリント第二 2:14）。

「一人びとりの魂は、その人自身の雰囲気の中に囲まれている。その雰囲気は、信仰、勇気、希望などの生き生きとした愛のかおりを放つものもあれば、あるいは、不平とわがままのために、重苦しく、冷たく憂うつで、心の中にひそむ罪の毒気を放っているものもある。わたしたちは、だれでも、このように自分のまわりに、一種のふんい気をもっていて、意識的に、または、無意識に、接する人びとに感化を及ぼしているのである。」（キリストの実物教訓 315）

- c. わたしたちの生活が、神への「香ばしいかおり」として受け入れられることができるように、わたしたちは何を要求されていますか（エゼキエル 20:41; ローマ 12:12）。

「神は死んだ捧げ物を嫌悪される。このお方は生きた犠牲、すなわち知性、識別力そして意志が完全にこのお方の奉仕に投じられた犠牲を要求される。一つ一つの個別の機能は、この働きに捧げられるべきである—わたしたちの足は義務への召しにすみやかに応じ、わたしたちの手はなされるべき働きのあるときにいつでも行う用意ができており、わたしたちの唇は愛のうちに真理を語り、またわたしたちを闇からこのお方の驚くべきみ光に呼び出してくださいましたお方への讚美を表す用意ができています。わたしたちは祭壇から何も取り去ることなく、この献身を続けるべきである。なぜなら、これは神聖を汚すことだからである。神の民がこのように自らを誠心と謙遜のうちに捧げるとき、神に受け入れられる。そして彼らはこのお方へのかんばしい香りとなり、全地に豊かな芳香を放つのである。」（*レビュー・アンド・ヘルト* 1884年2月5日）

### 3. 命のかおりか、死のかおりか？

- a. どのようにしてわたしたちの感化力は、ある人々には命への「かंबしい香り」となるときに、一方では同時に、他の人々にとって死への感化力となるかもしれませんか（コリント第二 2:15, 16; コリント第一 1:18; ペテロ第一 2:7）。

「[他の人々に及ぼす自分の感化力]は、わたしたちの避けることのできない責任である。わたしたちのこば、行為、服装、態度、あるいは、顔の表情でさえも、感化力を持っている。このようにして及ぼされた感化によって、相手がどれほどよくなるか、または、どれほど悪くなっていくか、だれにもわからない。このような刺激はすべて、必ず収穫をもたらす種である。それは、人類世界の長いできごとの連鎖の一つの輪であって、それが、どこまで続いているのかわからない。もしわたしたちが、自分たちの模範によって、又ひとびとの心の中によい原則を植えつけるのを助長したとすれば、彼らに善を行なう力を与えることになる。彼らはまた彼らで、同じ感化を他の人びとに与え、その人びとはまた他の人びとへと感化を及ぼしていく。こうして、わたしたちが、無意識のうちに及ぼした感化によって、幾千もの人びとが祝福を受けるようになる。」（キリストの実物教訓 315）

- b. どのようにして、わたしたちの感化力の香りは、わたしたちのまわりにいる人々にとって死にいたる悪臭となることがあり得ますか（伝道の書 10:1）。

「しかし、感化は同様の力をもって悪にも誘うものであることを忘れてはならない。自分の魂を失うことは、恐ろしいことである。けれども他の魂を滅びにおとし入れることは、さらに恐ろしいことである。わたしたちの感化が、死から死にいたらせるかおりになることは、恐ろしいことであるが、それは、可能である。」（同上 316）

- c. わたしたちは近い仲間を選ぶことにおいて、どのように気をつけるべきですか。それはなぜですか（コリント第一 6:14, 15; エペソ 5:11; コリント第一 5:6）。

「魂を結びつける環はふしぎなもので、心と心とは感応し合うものである。人は相手の考え、感情、精神を感じとる。こうした交わりは祝福かのろいかのどちらかである。青年は互に助け励まし合い、態度や性質や知識において向上することもでき、あるいは、不注意で不忠実になって、墮落的な影響を及ぼすこともある。」（青年への使命 413, 414）

## 4. 地の塩

- a. キリストは、神の民が世に対して及ぼすべき救いの感化力の価値を、どのように描写しましたか。そうなることによって、このお方はどのような警告をお与えになりましたか（マタイ 5:13）。（マタイ 8:12 参照）

「キリストの〔あなたがたは、地の塩である〕という言葉によって、何が人の感化力の価値をなしているかいくぶん理解することができる。それはキリストの感化力をもって働くことであり、キリストが掲げられるところで掲げ、正しい原則を与え、世の墮落の進展を食い止めることである。キリストだけが与えることのできる恵みを放つことである。それは、熱心な信仰と愛と結合した純潔な模範の力によって他の人の生活と品性を引き上げ、かんばしくすることである。神の民は、世において改革し保持する力を発揮するのである。彼らは破壊し、墮落させる悪の感化力に対抗するのである。」（天国で 239）

- b. わたしたちは、どのようにして世に及ぼす救う感化力をあらわすことができますか（エペソ 5:2）。

「救う塩、すなわちクリスチャンの香りとは、心のうちにあるイエスの愛、魂に引きわたるキリストの義である。もし宗教を告白する人が、自分の信仰の救いの効力を保ちたいならば、彼はいつも自分の前にキリストの義を保ち、また自分のしんがりとして神の栄光を持たなければならない。そのときキリストの力が生活と品性にあらわされるのである。」（パウル・エー 1892 年 2 月 15 日）

「わたしたちは自分のうちには、他人によい感化を及ぼすことができるものを持っていない。自分の無力と神の力の必要とを自覚するとき、わたしたちは自分自身にたよらないであろう。わたしたちは、一日、一時間、一瞬間がどんな結果を生じるかを知らないのであるから、天の父にわたしたちの道をまかせないで、一日を始めではならない。天使たちは、わたしたちを保護するように、神の任命を受けているから、もし、わたしたちが、天使の守護のもとにあるならば、どんな危険なときにも、天使たちは、わたしたちの右にいるのである。わたしたちが、無意識のうちに、悪い感化を及ぼす危険がある場合、天使がわたしたちの側で、他のよい方法をとるように注意してくれて、言うべきことを選び、わたしたちの行動を導いてくれる。こうして、わたしたちの感化は、無言で無意識のものであっても、他の人びとをキリストと天国に導く強い力となるのである。」（キリストの実物教訓 317）

## 5. 世を動かすための力

- a. 約束されたキリストのどのたまものが、あらゆる時代に男女がキリストのための忠実な証人となることができるようにさせますか (使徒行伝 1:8)。

「ペンテコステの日から現代にいたるまで主とそのみわざに自分のすべてをささげてきた人々に、助け主が送られてきた。キリストを個人的な救い主として受け入れたすべての者に、聖霊は助言者、聖別する者、導き手、証人としてのぞんだ。信する者たちは、神に密接につながって生活すればするほど、あがない主の愛と救いの恵みについて一層はっきりと力強くあかしした。」(患難から栄光へ上巻 45)

- b. どのようにわたしたちの感化力は、世に「永遠の福音」を宣布するこの働きを終わらせる手段となりますか (マタイ 25:4; 黙示録 18:1)。

「品性は力である。真実で無我の信心深い生活の無言のあかしは、どんな人をも感化しないではおかない力を持っている。わたしたちの生活の中に、キリストの品性をあらわすことによって、わたしたちは、救霊の働きをキリストと共にするのである。わたしたちが、キリストと協力できるのは、わたしたちの生活に、キリストの品性をあらわすことによるのみである。そして感化の範囲が広ければ広いほど、それだけ、善をなす範囲も広い。神に仕えるという者が、その日常生活において、律法の原則を実行して、キリストの模範に従うとき、すなわち、何をしても、その行為によって、彼らが神を何ものよりも愛し、隣人を自分のように愛していることを示すときに、教会は、世界を動かす力をもつようになるのである。」(キリストの実物教訓 316)

## 個人的な復習問題

1. どのようにして、わたしは地を取り囲んでいる霊的な雰囲気呼吸することができますか。
2. なぜ、神の知識を与えるために犠牲の精神は重要不可欠のですか。
3. いのちの香りもしくは死の香りとなることの相違を説明しなさい。
4. いのちの香りとなるために、わたしたちの心のうちに、何が要求されていますか。
5. どの力は、教会が世を動かすことができるようにさせますか。

## イエスを受け入れること

「わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。」(ガラテヤ 5:16)

「律法は神のお考えの表現である。わたしたちがキリストのうちにそれを受け入れるとき、それはわたしたちの考えとなる。それは生来の願望と傾向の力に、罪へ導く誘惑に超越させる。」(セクレット・メッセージ 1巻 235)

推奨文献：キリストへの道 62-72

日曜日

11月17日

### 1. わたしたちの生来の状態に打ち勝つ

#### a. 敵に対して効果的に戦う唯一の方法は何ですか (ヤコブ 4:7-10)。

「暗黒の王国の支配にはいるためには、わざわざその国の奉仕をえらぶ必要はない。光の王国と同盟することをおこたりさえすればよいのである。もしわれわれが天の勢力と協力しなければ、サタンは心を占領してそこを永住の地とする。悪に対する唯一の防備は、キリストの義を信じる信仰によって、心のうちにキリストに内住していただくことである。神とのいのちのつながりをもたないかぎり、われわれは、利己主義、放縦、罪への誘惑などのけがれた影響に抵抗することは決してできない。われわれは、多くの悪い習慣をやめ、しばらくの間はサタンとのまじわりをたちぎっているかも知れない。だが時々刻々に神に献身することによって、神とのいのちのつながりを持っているのでなければ、われわれは打ち負かされてしまう。キリストを個人的に知り、たえずキリストとまじわっていなければ、敵の思うままになり、ついには敵の命ずるとおりのことを行うようになる。」(各時代の希望中巻 41, 42)

#### b. キリストはどのようにわたしの心のうちにお住まいになりますか (ヨハネ 14:23)。

## 2. 自己満足を拒否する

- a. どの譬が、キリストをわたしたちの心のうちに招き入れず、このお方と結合しない危険を描写していますか (マタイ 12:43-45)。

「悪霊を追い出したが、キリストの愛で魂を満たさなかった人の譬は、心を空にするだけでなく、空いたところを神聖な占有者で満たす必要性を例示している。悪魔は、自分が追い出された心に戻ってくることを願っていた。彼はやってきて、部屋はそうじしてある上、飾りつけがされているが、まだ空であることを発見し、自分以上に悪い他の七つの霊と一緒に引き連れてきて中にはいり、こうしてその人ののちの状態は初めよりもっと悪くなるのである。この譬の中の人は、サタンの働きをすることを拒んだが、問題は心がそうじされ、飾りつけされた後に、天来の来賓のご臨在を招かなかったことである。心を空にするだけでは十分ではない。わたしたちは空いたところを神の愛で満たさなければならない。魂は神の御霊の恵みが供給されなければならない。わたしたちは多くの悪習慣を離れながらも、神とのつながりがないがゆえに、なお真に聖化されていないかもしれない。わたしたちはキリストと結合しなければならない。」(ビュ・アンド・ハルド 1893年1月24日)

- b. もしわたしたちが自分の心にこのお方を歓迎するならば、イエスは何をなさいますか (ユダ 24; 黙示録 3:20)。

「わたしたちは自己を空にしなければならない。しかし、これが要求されているすべてではない。なぜなら、わたしたちが自分の偶像を捨て去ったとき、空いたところが埋められなければならないからである。……わたしたちが心から自己を空にするとき、キリストの義を受け入れなければならない。信仰によってそれをつかみなさい。なぜなら、あなたはキリストの働きをなすことができるように、キリストの思いと霊を持たなければならないからである。もしあなたが心の戸を開くなら、イエスは空いたところをご自分の御霊という賜物によって埋めてくださる。そのとき、あなたは家庭において、教会において、世において生きた説教者となることができる。あなたは光を放つことができる。なぜなら、義の太陽の明るい光線が、あなたの上を照らしているからである。あなたの謙遜な生活、聖なる会話、まっすぐさも高潔さも、周りのすべての人々にあなたが神の子であり、天の相続者であること、あなたが世を自分の住まいとしてはしておらず、かえってここでは旅人であり寄留者あって、よりよい国、すなわち天を待ち望み、ただ神の栄光にひたすら目を留めて生きていることを告げる。」(同上 1892年2月23日)

### 3. 受け入れ

- a. 罪深い人間であるわたしたちは、どのように神のむすこ娘となれますか(ヨハネ 1:12, 13)。

「神のむすこという身分は、わたしたちが自分で手に入れるものではない。キリストを自分の救い主として受け入れる人々にのみ、神のむすこ娘となる力が与えられるのである。罪人は自分自身のどんな力でも、罪を自分から取り除くことはできない。この結果を果たすためには、より高い力を見なければならぬ。ヨハネは、『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』と叫んだ(ヨハネ 129)。キリストだけが、心を清める力を持っておられる。許しと受け入れを求めている人は、ただ次のように言うことができるだけである。—

「わが手に捧げうるものなし、

ただなが十字架にわれはよりすがらん」。しかし、むすこの身分は「その名を信じた」すべての人に約束されている。イエスの許へ信仰のうちに来るすべての人は、許しを受けるのである。」(神のむすこ娘たち 12)

- b. わたしたちは神からどのように義を受けることができますか(ヨハネ 3:16; マルコ 9:24; ローマ 1:16, 17)。

「義が得られるのは、苦しい戦いやつらい労苦によってではなく、ささげものや犠牲によってでもない。それはそれを受けたいと飢えかわくすべてのものに無償で与えられるのである。」(祝福の山 22)

「キリストは、わたしたちのために逃れる道を備えてくださった。キリストは、この地上でわたしたちが会わねばならない試練と誘惑のまっただ中で生活し、罪なき生涯をお送りになった。そして、わたしたちのために死に、今やわたしたちの罪を取り除いて、ご自分の義を与えようとしておられる。もし自分をキリストにささげ、キリストを自分の救い主として受け入れるならば、その生涯はこれまでいかに罪深いものであっても、このお方のゆえに義とみなされるのである。キリストのご品性があなたの品性の代りとなり、神の前に全然罪を犯したことの無いものとして受け入れられるのである。

こればかりでなく、キリストはわたしたちの心までも変えてくださる。信仰によって、キリストは心のうちにお住みになる。こうして、信仰と、たえずキリストに自らの意志を従わせることによって、キリストとの関係を持続するのである。このようにするかぎり、キリストはあなたのうちに働いて、み旨に従って志をたて、行うことができるようにしてくださる。」(キリストへの道 82, 83)

## 4. 許し以上に

- a. 神は、キリストを自分の義として受け入れる人々のために、何をしてくださると約束しておられますか (エゼキエル 11:19, 20; マタイ 5:8)。

「キリストの宗教は心を変える。それは世俗的な思いの人を、天の思いの人にする。その感化力の下で、利己的な人は、無我の人となる。なぜなら、それがキリストのご品性だからである。不正直で狡猾な人がまっすぐな人となり、こうして何でも自分にしてほしいと思うことをほかの人にすることが彼の第二の性質となる。放蕩者が不純から純潔へと変えられる。彼は正しい習慣を形成する。なぜなら、キリストの宗教は彼にとって命から命へ至る香りとなったからである。」(教会への証 5巻 345)

- b. 「お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」とのイエスの言葉は、許し以上を意味することが、どのようにわかりますか (ヨハネ 5:14; ヨハネ第一 1:9)。

「キリスト教は、ただ罪の許しを与えるだけではない。それは、まずわたしたちの罪を取り去って、そのあいたところを、聖霊の徳で満たすのである。これは、神の光を受けて、神にあって喜ぶことである。自己を全くむなしくして、絶えず、キリストの臨在の祝福を受けることである。キリストが魂を支配なさるときに、そこには、純潔と、罪からの自由がある。福音の計画の栄光と、その満ち満ちた完全さとが生活の中に完成されるのである救い主を受け入れることによって、完全な平和、完全な愛、完全な確証の喜びを味わうことができる。神が確かにみ子を世の救い主として、世界に送られた証拠として、わたしたちの生活のなかに、キリストの品性の美とかぐわしさがあらわれるのである。」(キリストの実物教訓 395, 396)

- c. わたしの罪が許されたという証拠は何ですか (ルカ 7:47; マタイ 7:16-20; ガラテヤ 5:22, 23)。

「主が悔い改める魂に許しを語られるとき、彼は情熱に満ち、神への愛に満ち、熱心さと精力に満ちている。そして彼が受け入れた命を与える御霊をとどめることはできない。彼のうちにあつて、キリストが永遠の命へとわきあがる水の泉となられるのである。」(レビュー・アンド・ハラルド 1896年5月5日)

## 5. イエスと共に宿る

- a. なぜ救出された狂人たちはイエスと共にとどまることを求めたのですか（詩篇 16:11; 51:11; ルカ 8:35）。

「〔回復された狂人たち〕は、救い主といっしょにいたいと望んだ。彼らは、今までの自分たちの生涯を苦しめ、人間の資格を失わせた悪鬼から安全に守られるには、イエスのそばにいればよいと感じていた。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 68）

「人々が救い主の招待をこぼむときにはいつでも、彼らはサタンに負けているのである。今日、人生の各方面において、家庭で、商売で、また教会の中でさえ、多くの人々がキリストをこぼんでいる。暴力と犯罪が地にひろがり、道徳的暗黒が死のとばりのように人々の住居をおおっているのはこのためである。サタンは見かけのよい誘惑で人々をだんだん悪い方へひっぱって行って、ついにはまったく墮落させ、破滅させてしまうのである。サタンの力に対するただ一つの防備はイエスのご臨在のうちにある。人類と天使の前で、サタンは人類の敵であり、人類を滅ぼす者であることがばくろされた。一方キリストは人の友、また人を救うおかたであることが示された。キリストのみたまは、品性を高め、性質を高貴にするような一切のものを人のうちに発達させる。」（各時代の希望中巻 67）

- b. マリヤはなぜイエスの足元へ座っていたのですか（ルカ 10:38, 39）。キリストのご品性のうちにあるどのような美しさが、彼女を魅了しましたか（イザヤ 40:11; 41:13; 42:3; エゼキエル 34:11, 15, 16, 23, 30, 31）。

「イエスは救いに至る知恵をもたらす知識を得る一つ一つの機会をつかまなければならないことを、ご自分の子らにお教えになりたいと思われる。」（預言の霊 2 巻 359）

## 個人的な復習問題

1. わたしたちは自分で悪と戦うために何ができますか。
2. 積極的にイエスを受け入れない人に、何が起こりますか。
3. わたしたちはどのようにしてイエスを受け入れますか。
4. 神によって完全に許されるたしかな結果は何ですか。
5. なぜキリストのうるわしきは、罪人の心をそれほどひきつけるのですか。

## キリストの義をつかむ

「あなたの目は、まっすぐに正面を見、あなたのまぶたはあなたの前を、まっすぐに見よ。あなたの足の道に気をつけよ、そうすれば、あなたのすべての道は安全である。右にも左にも迷い出てはならない、あなたの足を悪から離れさせよ。」(箴言 4:25-27)

「信仰によってキリストがわたしたちの心のうちに住まわれるということは、キリストについて瞑想すること、すなわち、キリストを眺め、いつも親愛なる救い主を最高にして尊ぶ友として心に抱いているがゆえに、わたしたちがいかなる行動においても、このお方を悲しませたり、このお方に罪を犯したりしたくないと望むことである。」(牧師への証 387)

推奨文献：キリストへの道 104-114

日曜日

11月24日

### 1. 今日わたしたちの大きな必要

- a. 今日、わたしたちの経験において、何がなんとしても必要とされていますか (マタイ 5:3-11 ペテロ第二 1:5-11)。

「今日、むかしのイスラエルの経験した真の心からの宗教のリバイバルが必要とされている。神に帰りたいと望むすべての人が取らなければならない最初の第一歩が悔い改めである。だれもこの働きをほかの人のためにしてあげることはできない。わたしたちは個々に自分の魂を神の御前にへりくだらせ、自分の偶像を捨てなければならない。わたしたちが自分になし得ることをすべてなしたとき、主はご自分の救いをわたしたちに表わしてください。」(争闘と勇気 145)

- b. わたしたちはどのようにしてリバイバルを経験しますか (使徒行伝 3:19; マタイ 8:5-13)。

「わたしたちは全くキリストにより頼まなければならない。キリストの義について語るだけでは、あなたに何の益ともならない。あなたはそれを生きた信仰によって自分のものとしなければならない。あなたは信仰があなたの魂の言葉となるまで、信仰を培うべきである。神が光のうちにいますように、わたしたちも光のうちは歩むのを神が助けてくださるように。」(ビュー・アンド・ワルド 1889年7月2日)

## 2. 信仰は行為

### a. キリストの義を自分のものにするとは、どういう意味ですか (コリント第二 5:21)。

「律法の要求に応じるためには、わたしたちの信仰はキリストの義をつかみ、それを自分の義として受け入れなければならない。キリストとの結合を通して、このお方の義を信仰によって受け入れることを通して、わたしたちは神のわざをなし、キリストとの共労者となる資格を得ることができる。」(セクレット・メッセージ 1巻 374)

「悪から守られる唯一の道は、キリストの義を信じる信仰によって、心の中にキリストを宿すことである。わたしたちが誘惑に負けるのは、利己主義が心にあるからである。しかし、神の大きな愛を見る時、利己主義は憎むべき、いまわしいものに思われ、それを心の中から追い出したいと願うようになる。聖霊がキリストを高め、わたしたちの心がやわらげられる時、試みはその力を失い、キリストの恵みは品性を変えるのである。」(祝福の山 148)

### b. 自分のものにするとは、憶測と、どのように違いますか (ヤコブ 2:19, 20)。

「多くの人はイエスが世の救い主であられることを認めるが、同時に自分たち自身はこのお方から距離を置き、自分たちの罪を悔い改めず、イエスを自分の個人的な救い主として受け入れない。彼らの信仰は単純に思いと判断が真理に同意するだけである。しかし、真理は心のうちに持ち込まれず、そのため魂を聖化することも品性を変えることもない。」(セクレット・メッセージ 1巻 389, 390)

「もしあなたが悩みの時を通じて耐え忍びたいならば、キリストを知り、このお方の義の賜物、すなわちこのお方が悔い改めた罪人に着せてくださる賜物を自分のものとしなければならない。」(レビュー・アンド・ヘルド 1892年11月22日)

「わたしたちは全くキリストにより頼まなければならない。キリストの義について語るだけでは、あなたにとって何の益にもならない。あなたはそれを生きた信仰によって自分のものとしなければならない。あなたは信仰があなたの魂の言葉となるまで、信仰を培うべきである。」(レビュー・アンド・ヘルド 1889年7月2日)

「本物の信仰はキリストの義を自分のものとする。そして罪人はキリストと共に勝利者とされる。なぜなら、彼は神性にあずかる者とされ、こうして神性と人性が結合したからである。」(セクレット・メッセージ 1巻 363, 364)

### 3. 信仰はキリストの義をつかまなければならない

#### a. わたしたちの生活にどのように変化が生じますか (コリント第二 10:5)。

「天への候補者となるためには、わたしたちは律法の要求に応じなければならない。『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。また、自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』(ルカ 10:27)。わたしたちは信仰によってキリストの義をつかんだときにのみ、こうすることができる。イエスを眺めることによって、わたしたちは心のうちに生きた拡大する原則を受け入れる。そして聖霊が働きを続け、信徒は恵みから恵みへ、力から力へ、品性から品性へと進んでいく。彼はキリストのみかたちへと一致し、ついに霊的成長において、キリスト・イエスにある満ちみちた高さにまで到達する。こうして、キリストは罪ののろいに終わりを告げ、信じる魂をその行為と影響から自由にする。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 395)

「神と救い主の愛を瞑想することによって、また神聖な品性の完全さを瞑想し、信仰によりキリストの義をわたしたちのものとして主張することによって、わたしたちは同じ姿へと変えられるのである。」(教会への証 5 巻 744)

「信仰によってキリストがわたしたちの心のうちに住まわれるということは、キリストについて瞑想すること、すなわち、キリストを眺め、いつも親愛なる救い主を最高にして尊ぶ友として心に抱いているがゆえに、わたしたちがいかなる行動においても、このお方を悲しませたり、このお方に罪を犯したりしたくないと望むことである。」(牧師への証 387)

#### b. 本物の信仰とは何ですか (ヘブル 11:1)。

「救いに至る信仰とは時々信仰ではない。それは単なる知性の同意ではなく、心に根ざした信念であり、キリストを個人的な救い主として奉じ、このお方がご自分によって神に来るすべてのものを最高にまで救うことができると確信している。このお方が他の人は救っても、あなたは救わないと信じることは、本物の信仰ではない。しかし、魂がキリストを救いの唯一の望みとしてつかむとき、そのとき本物の信仰が表される。この信仰はそれを持つ者を魂のすべての愛情をキリストにおくように導く。彼の理解力は聖霊の支配下にある。そして彼の品性は神聖なみかたちに従ってかたどられる。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 391)

#### 4. キリストの完全さを瞑想する

- a. どの関係が、愛によって働く信仰の結果ですか (ヨハネ 15:8)。信仰の結果、どの行為が生じますか (ヘブル 11:29-34; 箴言 4:25-27; 16:3)。

「わたしたちは次の言葉に表わされているよりもっと近く緊密なキリストとの関係を描くことができるであろうか、『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である』 (ヨハネ 15:5)。枝の繊維はほとんどぶどうの木の繊維と同一化している。幹から枝への命、力、そして豊かな実りの伝達は妨げられることなく不変である。根は、枝を通してその栄養を送る。真の信徒のキリストとの関係も同様である。彼はキリストのうちに宿り、自分の栄養をこのお方から引き出す。

この霊的な関係は、ただ個人的な信仰を働かせることによるのみ確立することができる。この信仰はわたしたちの側で最高の優先、完全な信頼、あますことのない献身を表現しなければならない。わたしたちの意志は、まったく神の意志に明け渡され、わたしたちの感情、願望、関心、そして誉れはキリストの御国の繁栄とこのお方のみ事業の誉れと一つになり、わたしたちは絶えず、このお方から恵みを受けて、キリストはわたしたちから感謝を受けられるのである。」(教会への証 5 巻 229)

- b. 信仰と愛はどのように互いに重要不可欠なのですか (ガラテヤ 5:6)。

「われわれを益する信仰は、キリストを自分自身の救い主として信ずる信仰、キリストの功績を自分自身のものとする信仰だけである。信仰を一つの意見として持っている人が多い。人を救う信仰は、キリストを受け入れる者が神との契約関係にはいる一つの取引きである。真の信仰はいのちである。生きた信仰とは、活力と信頼心とが増し加わり、それによって魂が勝利する力となることを意味する。」(各時代の希望中巻 74, 75)

「それでは信じるとは何であろうか。それはイエス・キリストがわたしたちの犠牲として死なれたということを受け入れることである。このお方がわたしたちのためにのろいとなられ、わたしたちの罪をご自分の身に負い、そしてわたしたちにご自身の義を着せてくださったことを受け入れるのである。であるから、このキリストの義をわたしたちは自分のものだとして主張し、それを信じる。そのときそれはわたしたちの義なのである。このお方はわたしたちの救い主であられる。このお方はご自分がなさると言われたがゆえに、わたしたちを救われる。わたしたちはこのお方がどのように自分たちを救うことができになるかについて、すべてを説明し尽くそうとするのであろうか。わたしたちのうちに、自分を良くし、罪の汚点やしみから清め、それから神の許へ来ることができるようになる善があるであろうか。わたしたちは全くそうすることができないのである。」(信仰と行い 70)

## 5. 救う信仰は取引

- a. 救いの計画におけるわたしたちの役割を説明しなさい (マタイ 7:7; マルコ 9:24; エペソ 2:8)。

「魂の宮は、神聖で、聖にして、純潔な、汚れないものとされなければならない。すべての力が神から来て、すべての栄光が神に帰する協力関係がなくてはならない。責任はわたしたちにある。わたしたちは表現するために、思想において、また感情において受けなければならない。人性と神性の行動の法則が、受ける人を神との共労者にするのである。それは人を神性と結合して神のわざをなすことのできるころへおく。人性が人性にふれる。神性な力と人間の代理人が結合して、完全な成功となる。なぜなら、キリストの義がすべてを成し遂げるからである。……

もしわたしたちが神のみ旨をなすならば、わたしたちは神の無償の賜物として大きな祝福を受けることができるが、それはわたしたちのうちに何らかの功績があるからではない。それには全く価値がない。キリストのわざをしなさい。そうすれば、あなたは神を尊び、またわたしたちを愛し、わたしたちがイエス・キリストを通して命と救いを得るようにと、わたしたちのためにご自分の命を与えてくださったお方を通して、勝利の上になお勝利を重ねて出てくるのである。」(信仰と行い 27, 28)

- b. もしわたしたちが神を信頼しないとすれば、このお方の是認を期待することができますか (ヘブル 11:6)。

「悪魔は、この尊い神よりの保証を奪い去り、人の心から希望と光を消し去ろうとしているが、そうさせてはならない。試みる者に耳を貸してはならない。」(キリストへの道 69)

## 個人的な復習問題

1. 神の律法の違反の刑罰についてのはっきりとした理解により、さまよう魂はどこへ連れて行かれますか。
2. わたしたちはどのようにしてキリストの義を自分のものとしますか。
3. わたしたちの生活にはどのように変化が生じますか。
4. クリスマンの成長と成熟における信仰と愛の役割を再考しなさい。
5. 信仰の行程がどのように進むかを述べなさい。

## 第一安息日献金 子どもと青年プロジェクト

なぜ、わたしたちは安息日学校へ行くのでしょうか。安息日学校に出席する最も大切な理由は、わたし自身の魂とわたしの子どもたちの魂が改心するためです。わたしたちは最高に組織された安息日学校を持つことができるかもしれませんが、「もし子どもや青年たちがキリストの許へ導かれなければ、学校は失敗である」(安息日学校への勧告 65)



世はむなしい哲学でわたしたちの子どもたちを養おうと努力しているのですから、わたしたちは手をこまねいていられるでしょうか。わたしたちは興味深い方法で子どもや青年たちを堅固な聖書の真理で養わなければなりません。そうするためには、良い安息日学校のカリキュラムが必要です。わたしたちは「子どもの宝(5～7歳向け)」の安息日聖書教科を完成したことを主に感謝したいと思います。わたしたちは「ジュニア・サーチャー(8～12歳向け)」の最終稿を作成しています。そして「ユース・エクスプローラー(13～16歳向け)」の執筆を続けていきます。四年目の「ジュニア・サーチャー」のカリキュラムは、「各時代の争闘」に基づいています。改革運動の英雄たち、アドベンチストの先駆者たち、また最後のできごとについての靈感を与える研究です。

「ジュニア・サーチャー」と「ユース・エクスプローラー」の目的は、わたしたちの子供と青年をキリストへ連れていくことです。すなわち、このお方を自分の最高の友として知るようになることです。教科は、彼らのうちに聖書に対する愛とそれを自分たちで研究したいという願望を起こすように意図されています。すべてにまさり、わたしたちは彼らがキリストへの大きな愛から、これらの教えに従うようになるようにと祈っています。ご両親がた、どうぞこれらの教科を年少者たちと一緒に学んで下さい。神のみ言葉に費やした時間は、千倍にも祝福されます。

「安息日学校は両親にも子供たちにも、神のみことばを研究する尊い機会を与える。しかし、安息日学校で当然受けるべき恩恵を得るには、両親も子供も教科の研究のために十分に時間をさか……なければならぬ。」(同上 42)

このプロジェクトを皆さんの祈りと資金で援助して下さいをお願いいたします。わたしたちは世界中のわたしたちの子供や青年たちのために熱心に働き、日々お祈りしています。皆さんも、わたしたちの小さな群れのために働き、祈り、与えることに参加して下さいませんか。「神はあなたの祈りを聞き入れて、〔あなたの子ら〕をご自身のもとへ引きよせてくださる。それから最後の審判の日に、あなたは彼らを神のみもとに連れて行って、『見よ、わたしと、神がわたしに賜った子らとは』と言うことができる。」(アドベンチスト・ホーム 618)

世界総会安息日学校支部

## 義の真珠を手に入れる

「また天国は、良い真珠を捜している商人のようなものである。高価な真珠一個を見いだすと、行って持ち物をみな売りはらい、そしてこれを買うのである。」(マタイ 13:45, 46)

「救いは、人間の努力によって得られるものではない。しかし、この世界のいっさいをなげうつほどの熱誠さと忍耐をもって求めなければならないものである。」(キリストの実物教訓 94)

推奨文献：キリストへの道 115-125

日曜日

12月1日

### 1. 高価な真珠

a. 高価な真珠をどのように理解すべきですか(マタイ 13:45, 46)。

「実はキリストご自身が、高価な真珠である。……キリストの義は、純粋な白真珠のように、しみも傷もない。どんな人間の技術をもってしても、この偉大で尊い神の賜物をそれ以上にすぐれたものにするにはできない。それには、一つとしてきずがない。」(同上 92)

b. どのように高価な真珠を手に入れることができますか(イザヤ 55:1-3)。それを手に入れるためには、何を明け渡さなければなりませんか(ゼカリヤ 3:4; エペソ 4:22-32)。

「救いは無償で与えられる賜物であるが、また売買されるものでもある。……どんなに貧しい人でも、どんなに富んでいる人でも同じように、救いを買うことができる。これはどんなに地上の富を積んでも買えるものではない。喜んで神に従い、わたしたちを、キリストご自身があがなわれた所有としてキリストにささげることによって、得られるのである。」(同上 74)

「ああ、あなたが祈りの心と神に明け渡す精神を持って聖書を探るように! ああ、あなたが灯されたろうそくをもってするように自分の心を探り、思いを神からそらす世俗的な習慣にあなたを結びつける最も細い糸を発見し、断ち切るように!」(主よ、来りませ 48)

## 2. キリストの義を買う工程

- a. 義を「買う」ということは実際、どういう意味ですか。キリストの義をどのように「買い」ますか（黙示録 3:18）。

「救い主はあらゆる偽物、すなわち偽造されたすべての物と区別された最も高価な価値のある真理という宝石を持って来られた。このお方はすべての家に、すべての戸に来られる。このお方は戸をたたいて、ご自分の値のつけられないほど高価な宝を示し、『わたしから買いなさい』と強く勧めて下さる。」（ハイグル・コムリ [E. G. ホワットコムリ] 7巻 964）

「たとえば、真珠を、賜物としてあつかっていない。商人は、持ち物を全部売って、それを買ったのである。キリストは、聖書の中では、賜物であると教えられているから、これは、どうしたことであろうと疑念をいだく人も多いことであろう。キリストは、たしかに賜物であることにちがいないが、それは、キリストに身も心も魂も全きさげものに対してだけ与えられる賜物である。わたしたちは、自分をキリストにささげ、キリストのすべてのご要求に喜んで従う生活をしなければならない。わたしたちのいっさい、わたしたちの才能も力量もことごとく主のものであるから、それを主のご用にささげなければならない。自分を全く主にささげるときに、キリストは、天のあらゆる宝とともに、ご自身をわたしたちにお与えになる。わたしたちは、高価な真珠を所有するのである。」（キリストの実物教訓 93）

- b. なぜわたしたちは心を尽くして、キリストから買う必要があるのですか（エレミヤ 29:11-13）。

「イエスは戸から戸へと進み、すべての魂の宮の前に立って、『わたしは戸の外に立ってたたいている』と宣言しておられる（黙示録 3:20）。天来の商人、すなわち霊的な富を持つお方として、このお方は、『あなたの戸を開きなさい。そしてわたしと取引をなささい。あなたにわたしから買いなさいと勧告するのは、あなたの贖い主であるわたしである』と言われる。」（ビュー・アンド・ワールド 1894年8月7日）

「不用意に宗教のことを語ったり、魂のかわきや生きた信仰がなくて祈ったりしても、それは何の役にもたない。キリストをただ世の救い主として受け入れる口さきだけの信仰では、決して魂をいやすことができない。救いにいたる信仰は、頭だけで真理に同意することではない。全部わかるまでは信仰を働かそうとしない人は、神から祝福を受けることができない。キリストについて信ずるだけでは十分でない。キリストそのものを信じなければならない。われわれを益する信仰は、キリストを自分自身の救い主として信ずる信仰、キリストの功績を自分自身のものとする信仰だけである。」（各時代の希望中 94）

### 3. 尊い真珠のために支払う

- a. わたしたちは皆、一富んでいる者も、貧しい者も、教会で育った者も、世俗的な思いの人々の間で育った者も一、高価な真珠のために支払おうと努めるとき、何を悟る必要がありますか（箴言 22:2; 使徒行伝 10:34, 35）。

「自分は物質的に、霊的に恵まれた立場にあるから、救いを得られると思っ  
てはならない。神は、あなたが心から服従することを求めておられる。罪を捨てよとお  
おせになるのである。……

ある人びとは、つねに、天の真珠を求めているように見えるけれども、彼らは、  
自分たちの悪習慣を全く放棄していない。彼らは、キリストが彼らの中に生きてく  
ださるために自己に死ぬことをしない。彼らが高価な真珠を見いだすことができな  
いのはそのためである。彼らは、まだ、汚れた野心や世の快樂を愛する心に勝利  
していない。彼らは、キリストにならって十字架をとって、克己と犠牲の道を歩か  
ない。九分通りクリスチャンではあるが、完全なクリスチャンになっていない。天国  
に近いようではあるが、天国にはいることはできない。完全ではなくて、九分通り  
救われていることは、九分通り失われていることではなくて、完全に失われている  
ことである。」（キリストの実物教訓 95）

- b. 何によって、この売出しを見逃すかもしれませんか（ルカ 9:24; 14:33; ヤコブ 4:10）。

「今、自分たちの会計報告を提出するように呼ばれたら、どれほど多くの人が、  
神から与えられた恩恵期間をあまりにもまったく自己奉仕に費やしたことを悲しみ、  
後悔し、自責の念をもってそうすることであろう！魂の永遠の利益は、重要でない  
事柄のために、恐ろしいほどなおざりにされてきた。思いはサタンの思い通りに、  
利己的な関心やまったく重要でない事柄で忙しく保たれ、まったく天にふさわしい  
者とされることなく、時間が永遠に過ぎ去ってしまうかもしれない。

人間の魂の損失と比較できるものは何であろうか。すべての魂が自分で決めな  
ければならない問題—永遠の命という宝を得るか、もしくは神とその義を第一かつ唯  
一の課題とすることをなおざりにするがゆえにすべてを失うか—である。世の贖い  
主であられるイエスは、……クリスチャンだと公言しながら、このお方ではなく自分  
自身に仕えている多大な人々を悲しみをもってご覧になる。」（彼を知るために 321）

#### 4. 真珠の価値を正しく評価する

- a. なぜだれでも高価な真珠を買うためにすべてを売るのはですか。何が、それをそれほど利益の多い取引とするのですか (ヨブ 28:12-23; 箴言 2:1-5)。

「キリストの福音はすべての人が持つことのできる祝福である。それは人を貧しくても、悲惨でも、みじめでも、目が見えなくても、裸でもありのままに受け入れる。キリストがご自分の許へ来る人々に提示される唯一の条件はご自分の義で覆われることであり、それはご自分の戒めへの従順である。そして従順な魂は、律法が完全な自由の律法、すなわち、確かに動かない望みを信仰によってつかむ自由を見出す。わたしたちが神にご自身のものをお返しするとき、わたしたちが品性という自分の衣を洗い、それらを小羊の血によって白くするとき、そのとき、天の冠の資格が与えられる。」(サインズ・オブ・タイムズ 1898年12月15日)

「わたしたちがすべてをささげると言っても、いったいなにをささげるのであろうか。それは、イエスにきよめられ、その血によって洗われ、かれの無比の愛によって救われるためにささげる罪に汚れた心だけである。それなのに人々は、それを捨ててやりたいと思っている。わたしはそういう話を聞き、また書くことさへ恥じ入るのである。

神は、わたしたちが持っていて益になるものは、なにひとつ捨てるようにとはお求めにならない。何をなさるにも、いつもその子らの幸福を考えておられる。自分が今求めているよりはるかに良いものを神は備えておいでになるということ、キリストを選んでいないすべての人が悟るようにと望む。」(キリストへの道 58)

- b. 買い手が「買う」ために「売る」ようにさせる動機は何ですか。どのようにして義務は、「喜び」となり、「犠牲が楽しみ」となりますか (民数記 21:8, 9; マタイ 13:44)。

「自分の罪深さを悟るとき、ゆるすことのおできになる〔わたしたちの〕救い主のもとへ駆り立てられる。そして魂が、自分の力なさを悟ってキリストに手をのべるとき、キリストはご自身を力のうちにあらわして下さるのである。必要に迫られ、キリストと神のみ言葉に近づけば近づくほど、わたしたちはキリストの品性をもっとよく知るようになり、そのみかたちをもっと十分に反映するようになる。」(同上 87)

「ひとたびキリストの上に注視が定まると、そこに生活の中心が見いだされる。青年の熱意と気高い献身と情熱はここに真の目的を見いだすのである。義務をつくすことが喜びとなり、犠牲を払うことが楽しみとなる。キリストの栄えをあらわし、キリストのようになり、キリストのために働くことが、人生の最高の抱負となり、最大の歓喜となるのである。」(教育 350)

## 5. 価値を見極める

### a. 真珠の価値を見極めるとき、何が起きますか (使徒行伝 2:37)。

「使徒たちが父のひとり子の栄光について語ったとき、三千人が悔改めた。彼らは、自分たちが、なんと罪深く汚れているかに気づきキリストを彼らのよき友、あがない主として見るができるようになった。キリストは、人びとの上に注がれた聖霊の力によって高められ、あがめられた。信者たちは、自分たちが滅びないで永遠の命を得るために屈辱と苦難と死にあわれたのは、この方であることを、信仰によって悟った。」(キリストの実物教訓 96, 98)

### b. わたしたちが真珠の代価と価値を理解するとき、すなわち非常に価値があるためそれを買おうと決心するとき、何が起きますか (イザヤ 55:7; ペリピ 3:7, 8)。

「もしわたしたちがキリストのためにすべてを捨てたなら、わたしたちの生活は謙遜なものとなり、わたしたちの会話は天来のものとなり、わたしたちのふるまいは落ち度のないものとなる。魂のうちにある真理の力強く、精錬する感化力と生活の中に具現化するキリストのご品性がお方を告白する。高潔さ、堅固さ、そして忍耐は、すべての人が熱心に培うよう努力すべき資質である。なぜなら、それらは所有者に抵抗しがたい力一彼を善を行うに強く、悪に抵抗するのに強く、逆境に耐えるのに強くする力をまとわせるからである。……自らを保留せずにキリストの側においた人々は、理性と良心が彼らに正しいと告げることによって、堅固に立つのである。」(神の驚くべき恵み 277)

## 個人的な復習問題

1. 高価な真珠はだれですか。
2. 真珠を買うのにどのような工程がありますか。
3. 聖書的な購買方法は何ですか。説明しなさい。
4. なぜ、人は一つの真珠のためにすべてを売るのでですか。
5. わたしたちが本当に真珠の価値を正しく評価したとき、わたしたちの内側で何が起きますか。

## キリストのうちにあるわたしたちの価値

「あなたがたは、はたして信仰があるかどうか、自分を反省し、自分を吟味するがよい。それとも、あなたがにせものでないならば、イエス・キリストがあなたがたのうちにおられることを、悟らないのか。」(コリント第二 13:5 英語訳)

「十字架の光によってのみ、人間の魂の真の価値が計られるのである。」(患難から栄光へ上巻 294)

推奨文献：キリストへの道 126-144

日曜日

12月8日

### 1. わたしたちの危険を悟る

- a. 恵みから落ちることがないように、わたしたちは絶えず何に対して警戒していなければなりませんか(エレミヤ 17:9, 10; 箴言 16:18; コリント第一 10:12)。

「キリストはわたしたちの全生涯がご自分との破られない通信となることができるように、手段を提供された。しかし、キリストの永続的なご臨在の自覚は、ただ生きた信仰を通してのみもたらされる。……

すべての人は、特権として持つことのできる完全さを熟考し、次を自問しよう。わたしの意志はキリストの意志にのみ込まれているであろうか。生きたぶどうの木の満ちみちた徳と富—このお方の善、憐れみ、同情と愛—はわたしの生活と品性に見られるであろうか。」(天国で 56)

- b. 適切な自己見解とイエスのみ旨に従うことの模範を挙げなさい(コリント第一 9:26, 27; 15:30, 31. マルコ 7:14-23)。

「嗜好、食欲、感情、動機、願望を偉大な道徳的義の標準に一致させることは、重要不可欠な働きである。働きは心で始められなければならない。それは純潔で、キリストのみ旨に完全に一致したものでなければならない。さもなければ、何か支配的な感情や、何かの習慣や欠点が減ぼす力となる。神は心全体に満たないものは何もお受入れにならない。」(クリスチャン教育 51)

## 2. 適切な見解を発達させる

### a. 何が神に仕えるわたしたちの能力を妨げる傾向がありますか (マタイ 18:1-4)。

「わたしたちのうちにある自己の意志は死ななければならない。キリストの意志だけに従わなければならない。キリストの軍隊にいる兵卒は、困難に耐え、自己を否定し、十字架を取りあげ、自分の将が導く道に従うことを学ばなければならない。人間の性質にとって厳しく、肉や血にとって痛みを感じるなすべき事柄が多くある。この自己を征服する働きは、断固とした継続的な努力を要求する。信仰の良き戦いを戦い、尊い勝利を得るには、永遠の命をつかまなければならない。」(ユース・インスター 1886年12月22日)

「イエスは世の命のためにご自身の命を与えて下さった。そしてこのお方は人に無限の価値をおいて下さる。このお方は人が自分を正しく評価し、将来の幸福を考えるようにと望まれる。……もし霊的な視界がはっきりしていれば、目に見えない現実がその真の価値のうちに見られるようになる。」(管理職への勧告 136)

### b. わたしたちが神との正しい関係を持つことができるために、何が変わる必要がありますか (マタイ 6:24; 箴言 8:13)。

「わたしたちは生れながらに自己中心で、自分の意見を通そうとする。しかし、キリストが教えようとお望みになっている教訓を学ぶとき、キリストの性質をもつ者となり、したがってキリストと同じ生涯を送る。キリストのりっぱな模範、泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜び、他人の気持に自らなられたところの、比類のない優しさが真心からキリストに従うすべての人の性格に深い感化を及ぼすに違いない。そういう人は親切な言葉、行動によって疲れた者の道を平易にしようと努力する。」(ミニスター・オブ・ヒーリング 130)

「実際的なキリスト教の事柄に関して、自分には優れた知性があると考えた人々がある。そうであるかないかは、生活の行動によって示される。彼らは自己中心的であろうか、さもなければ真理と義の聖霊によって動かされているであろうか。宗教が生きた活動的な原則とならなければならない。真のクリスチャンのすべてをのみ込む一つの動機とは、キリストのいつくしみ深さと愛を表現することである。」(ロマーリング・メッセージ 318)

### 3. わたしたちは功績のない僕である

- a. 神をさがし求めるにあたり、何を心に留めておくべきですか（ヤコブ 4:6-10; ルカ 17:10）。

「イエスは神のみ前で、ほふられた小羊のように、ご自分の流された血を捧げつつ、務めをなしておられる。イエスは罪人のすべての罪とすべての欠点のために捧げられたなだめの供え物を提示しておられる。」（ヘレテッド・メッセージ 1 巻 344）

キリストがカルバリーの十字架上で死なれたとき、新しく生きた道がユダヤ人にも異邦人にも同様に開かれた。

御使たちは、救い主が『すべて終わった』と叫ばれたとき、喜んだ。偉大な贖いの計画が実行されるのであった。従順の生活を通して、アダムのむすこたちは、ついには神の御座へと高められることがのできるのであった。」（イエスの物語 147）

「わたしたち自身の良いわざを通して、完全に到達することは決してできない。イエスを信仰によって見る魂は、自分自身の義を断固として拒否する。彼は自分自身を不完全なものとし、自分の悔い改めを不十分なもの、自分の最も強い信仰は弱さにすぎず、自分の最も高価な犠牲も取るに足らないものとみなす。そして彼は謙遜のうちに、十字架の下に沈む。しかし、神のみ言葉の託宣から彼にみ声が語られる。彼は驚いて次のメッセージを聞く。『あなたはこのお方であって完全である』（コロサイ 2:10 英語訳）、今や彼の魂はまったく落ち着いた。もはや彼は自分自身のうちに神の恩寵を得るための何かの価値、何かの功績ある行いを見出そうと奮闘しない。」（信仰と行い 107）

- b. わたしたちは救いについていつも何を覚えていなければなりませんか（コリント第一 1:27-31）。

「救いの科学はすべての説教の責任、すべての歌の主題でなければならない。すべての嘆願の中でそれが注ぎ出されるようにしよう。み言葉を説くときに、神の言であり力であるキリストを補完するための何かを持ちこまないようにしよう。このお方の御名、すなわちわたしたちを救い得る天下に与えられた唯一の御名がすべての説教で高められ、安息日ごとに見張り人のラッパの音が確かな音を出すようにしよう。キリストは福音の科学であり訴える力である。そしてこのお方の牧師たちは命のみ言葉を固くつかみ、悔い改める者に希望を、悩み落胆した者に平安を、そして信じる者に恵みと完全さと力を示さなければならない。」（言葉と歌における声 337）

#### 4. より深い見解を得るために

- a. わたしたち自身の霊的な状態に関して何をどのように命じられていますか（ガラテヤ 6:4; コリント第二 13:5）。

「非常に多くの人々が自分の霊的な状態に関して欺かれている。キリストのうちに、わたしたちは勝利を得るのである。このお方のうちに、わたしたちには完全な模範者がおられる。このお方は完全な憎しみをもって罪をにくまれた一方、罪人のために泣くことができなくなった。このお方は神性を持っておられたが、その一方幼子の謙遜さを持っておられた。このお方はご自分のご品性の中にわたしたちが自分たちの品性のうちに持たなければならないもの、すなわち同情に満ちておられる心が、人類の苦悩に最もやさしい同情に動かされたそのかたわら、どんな生涯も危険も彼を義務の道からそらすことができない辛抱強さをもっておられた。」（この日を神と共に 279）

- b. 神は律法の要求する正義とご自分の律法に関して、わたしたちをどのようにご覧になりますか（イザヤ 63:5, 8, 9; ペテロ第一 1:18, 19; ローマ 5:8-10）。

「神の律法は破られてきた。神聖な政府は辱められてきた。そして正義は不法の刑罰が支払われることを要求した。

人類を永遠の死から救うために、神の御子は不従順の刑罰を自発的に負われた。天の君のへりくだりによってのみ、辱めは取り除かれ、正義は満足し、人は不従順によって失ったものへと回復されることができる。その他に道はない。なぜなら、御使がこの地上に来てアダムがたまずぎ、倒れた地を通っても、十分ではないからである。これは一つの罪のしみを取り除くこともできないし、人に一時間でも恩恵期間を与えることはできない。

『キリストは、神と等しく、御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の真の姿であって』（ヘブル 1:3）、ご自分の神性を人性でまとわれ、罪人のために苦しみ、死ぬためにこの地に来られた。神のひとり子は自らを低くされ、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。ご自分の身に罪ののろいを負われることによって、このお方はすべての人の手の届くところに、幸福と不死をおかれた。……

わたしたちの永遠の幸福を確保するために、このお方の苦しみが必要であったことを悟るとき、わたしたちの心が動かされ、溶かされるのである。」（ヘレクテッド・メッセジ 1巻 308, 309）

## 5. 謙遜と対照的な誇り

- a. 誇り、謙遜、そして自己憐憫（れんびん）の違いは何ですか（ダニエル 4:29-33; ヤコブ 4:13-16; ガラテヤ 27:34）。

「自己愛、自己称揚、そして誇りには、大変な弱さがある。しかし、謙遜には大きな強さがある。……わたしたちが神から離れているとき、わたしたちの誇りや闇のうちに、わたしたちは思いの低さが力であることを忘れて、絶えず自分自身を高めようとする。」（サインズ・オブ・タイムズ 1897年10月21日）

- b. 神の民はなぜ過去において、神のみ旨に従わなかったのですか（民数記 13:30-14:4; サムエル記上 17:4-11, 24; 列王紀上 19:1-18）。わたしたちはその代わりにどのようにふるまうべきですか。

「熱心と精力は強化されなければならない。活動しないためにさびかけているタラントは、奉仕に持ちこまれなければならない。次のように言う声、『ちょっと待ちなさい。自ら重荷を負わされることを許してはならない』は、臆病な斥候の声である。わたしたちは今前線に出ていくカレブ—勇気ある言葉で即座の行動をとるよう力強い報告をなしたイスラエルの首長—を必要としている。利己的で、安逸を愛し、恐怖にかられた人々が、背の高い巨人や近寄りたがひ城壁を恐れて、退却を要求するときに、たとえ臆病な者たちが手に石を持って立ち、忠実な証のゆえに打ちのめそうと待ち構えていても、カレブたちの声が聞かれるようにしなさい。」（教会への証 5巻 383）

## 個人的な復習問題

1. クリスマスは絶えず何に気をつけていなければなりませんか。
2. 人はどのように適切な見解を発達させますか。
3. わたしたちは救いに価値を置きますか。
4. わたしはキリストの十字架との関係において、どのように立ちますか。
5. わたしたちは謙遜と反対の誇りについて、あまりにもしばしば何を忘れますか。

## イエスのために生きる

「それとも、正しくない者が神の国をつぐことはないのを、知らないのか。まちがってはいけない。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしめる者、略奪する者は、いずれも神の国をつぐことはないのである。あなたがたの中には、以前はそんな人もいた。しかし、あなたがたは、主イエス・キリストの名によって、またわたしたちの神の霊によって、洗われ、きよめられ、義とされたのである。」(コリント第一 6:9-11)

「献身、敬神、そして人全体の聖化は、キリストわれらの義を通してもたらされる。神の愛は、絶えず培われる必要がある。ああ、わたしの心はイエス・キリストの思いのために生ける神へと叫び出す！わたしは自己を見失いたいのである。」(彼を知るために 55)

推奨文献：キリストへの道 145-158

日曜日

12月15日

### 1. キリストを通しての変化

- a. イエス・キリストを受け入れるとき、わたしたちの生涯にどのような変化が起こりますか(ヨハネ 14:23; ヨハネ第一 2:3-6; 4:15-21)。

「もしわたしたちがキリストのものであれば、かれと一つ心になり、かれのことを思うのが一番楽しいこととなり、わたしたちの持ち物も、わたしたち自身もすべてかれにささげる。」(キリストへの道 75)

「キリストが心のうちに住まわれるとき性格全体が変化し、キリストの霊、キリストの愛が心を和らげ、魂を制御し、思想や欲求を神と天に向けるのである。」(同上 99)

「この点がすべての思いの中で十分に定着するようにしよう。もしわたしたちがキリストを贖い主として受け入れるとすれば、わたしたちはこのお方を支配者として受け入れなければならない。わたしたちはこのお方を自分の王として認め、このお方の戒めに従順とならない限り、確証や、キリストを自分の救い主として信じる完全な心からの信頼を持つことはできない。こうしてわたしたちは神への忠誠を証明するのである。わたしたちにはそのとき、自分の信仰に本物の響きがある。なぜなら、それは働く信仰だからである。それは愛によって働く。」(信仰と行い 16)

## 2. 重要な問題

- a. キリストを通しての驚くべき変化の働きは、どのように継続している戦いとかわりがあるかを描写しなさい (エペソ 6:12, 13; ペテロ第一 5:6-10)。

「一人びとりの魂の中で、二つの力が勝利のために熱心に戦っている。不信がその力を結集し、サタンに導かれて、わたしたちの力の源であられるお方からわたしたちを切り離そうとしている。信仰はその力を結集して、わたしたちの信仰の創始者であり完成者であられるキリストに導かれている。毎時間、全宇宙の見ている中で、戦いが進行している。これは格闘であって、重要な質問は、どちらが支配力を得るかということである。この問いは各自が自分で決定しなければならない。この争闘において、すべての人が参加し、いずれかの側で戦わなければならない。戦いから解放されることはない。」(神のむすこ娘たち 328)

「もしわたしたちの目が開かれて善と悪の代理者たちが働いていることを見るなら、軽率で虚しいからかいや冗談はなくなるであろう。もしすべての人が神のすべての武具を身につけて、主の戦いを雄々しく戦うならば、闇の王国を震え上がらせるような勝利を得るのである。」(教会への証 6 巻 41)

「テストはすべての人に訪れる。ただ二つの側しかない。あなたはどちらの側にいるであろうか。」(同上 8 巻 120)

- b. 世において何が最も高価な物ですか。そして、どのようにその大きさが表されますか (ローマ 6:23 上句; ヘブル 9:27)。

「わたしたちは、世において最も高額なものは罪であることを理解できないのであろうか。それは良心の純潔さを犠牲にし、神の恩寵を失い、魂がこのお方から分離するという代価がかかる。……裁き主が座に就き、すべての魂の救いか喪失かを証するために書物が開かれるとき、どのような光景が提示されることであろう! 忠実にして義なる人々への報いと、不忠実な者で不義なる者……の刑罰を最終的に与えることは、人類のうちに生きられ、人類を愛し、人類のためにご自身の命を与えて下さったお方の誤りのない決定を要求する。

わたしたちの救いの働きは神とわたしたち自身の魂の間におかれている。すべての国民は、このお方のみ前に裁きを受けるのであるが、なおこのお方はあたかも地上に他の人がだれもいないかのような厳密と綿密な調査をもって各個人の事情を吟味される。」(天国で 360)

### 3. 活動的な信仰

#### a. 救いにおいて信仰が結集される必要性を述べなさい (ルカ 10:27)。

「主人のための活動的で熱心な奉仕に満たないものは、わたしたちの信仰の公言を偽りとする。熱心で実際的な働きによって表されたキリスト教だけが、とがと罪のうちに死んでいる人々に印象を残すのである。祈り、へりくだり、信じるクリスチャン、自分たちの行動によって、すべての人を試すことになる救いの真理が知られるようになることこそ自分たちの最大の願いであることを示す人々は、主人のために魂の豊かな収穫を集めるのである。……

わたしたちは世にあって働きをしているが、十分な活動や熱心さを表していない。もしわたしたちがもっと熱心であれば、人々はわたしたちのメッセージの真理に納得するのである。……わたしたちは外面的な奉仕の行為をみな果たしながら、なおギルボアの丘が露と雨に欠いていたように、聖霊のよみがえらせる感化力に欠いているかもしれない。わたしたちはみな霊的な湿気を必要としており、またわたしたちの心をやわらげ、従わせる義の太陽の明るい光線もまた必要としている。……聖書の原則が教えられ、それから聖なる実践によって裏付けされなければならない。」(教会への証 6 卷 417, 418)

#### b. イエスはどのように、わたしたちのうちに見たいと望んでおられる断固とした変化を生き生きと例証しておられますか (ヨハネ 3:5-7)。

「古い方法、先天的な傾向、以前の習慣をやめなければならない。なぜなら、恵みは受け継がれるものではないからである。新生は、新しい動機、新しい嗜好、新しい傾向を持つことから成り立っている。聖霊によって新しい命に生まれる人々は、神性にあずかる者となり、彼らのすべての習慣と実践において、彼らのキリストとの関係の証拠を示すのである。」(ビュー・アンド・ヘルド 1892 年 4 月 12 日)

「何か新しいものを望む人々は、新生の結果である命の新しさを求めなさい。真理に従うことによって自分の魂をきよめ、永遠の命を受けるために何をしなければならぬかを尋ねた法律家に、キリストがお与えになった教えと調和して行動しなさい。

『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。また、『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』。『そのとおり行いなさい。そうすれば、いのちが得られる』(ルカ 10:27, 28)。自分たちの生活を神のみ言葉の明白なご要求に一致するすべての人は、永遠の命を受け継ぐ。」(ノトブック・リフレット 2 卷 164)

#### 4. すべては神から

- a. どの思想がいつもわたしたちの思いにとどめられているべきですか（歴代志上 29:14）。

「人類家族の一人びとりは、まったくキリストのみ手のうちに与えられている。そしてわたしたちが持っているものは何でも、それがこの現世の生涯における金銭、家屋、土地、理性の力、身体的な強さ、知性のタラントの賜物でも—また将来の生涯の祝福でも、人類の益のために忠実に費やされるべき神の宝としてわたしたちの所有のうちにおかれている。すべての賜物には、十字架の印が押され、イエス・キリストのみかたちと銘を帯びている。すべてのものは神から来る。最も小さな恩恵から最も大きな祝福まで、すべて一つの水路なるお方、すなわち血潮のふりかけられた超人的な仲裁を通してあふれるのである。その血潮は御子のうちにある神の命であったがゆえにはかりしれない価値を持っている。……

わたしたちは何も持っていない。価値においても、働きにおいても、信仰においても、はじめに神から受けたもの以外は何もお捧げできない。このお方がいつでもご自分の御手を上において、それらはわたしのものである—あなたが自分自身を富ませるためではなく、世に恩恵を与えるために賢明に活用するために、わたしがあなたに委ねた賜物であり、祝福であり、才能である—と言うことのおおきになるもの以外は何もない。」（信仰と行い 22）

- b. この現実、わたしたちの態度にどのように影響を及ぼすべきですか（ローマ 2:1-4; コリント第一 6:9-11）。

「あなたがたはキリストなしに思想を持つことはできない。あなたは人間の思いにこのお方の御霊が及ぼす感化や印象を働かせて下さらない限り、このお方のみ許へ来る傾向を持つことができない。……

そうであれば、わたしたちは決して自分で悔い改めることができ、そのときキリストが許して下さると言わないことにしよう。断じてそうではない。許すのは神の恩寵である。わたしたちを神のみ力によって悔い改めに導くのは神の恩寵である。であるから、それはすべてイエス・キリストからのものであり、すべてはこのお方からである。そして、あなたはただ神に栄光をお返ししたいのである。なぜあなたがたが集会で共に集まるときに、もっと反応しないのであろうか。なぜイエスの愛とこのお方の救いがあなたがたに示されるときに、あなたがたに神の御霊の生き返らせる感化力がないのであろうか。それは、キリストが最初であり、最後であり、最善であること、アルパでありオメガであること、はじめであり終わりであり、わたしたちの信仰のまさに創始者であり完成者であられることを悟らないからである。」（同上 73）

## 5. わたしたちの主人の御足の跡に従う

- a. わたしたちの日常生活における十字架を説明しなさい (エペソ 2:11-18; マタイ 16:24, 25)。

「もっと都合のよいとき、掲げられるべき十字架が今より重くないとき、肉の心の傾向を征服するのに今ほど努力が要らないときを探して将来を見てはならない。『今日』と神の御霊は言われる、『神のみ声を聞いたなら、心をかたくなにはならない』。今日、働きに出なさい。さもなければいつかとりかえしがつかなくなるかもしれない。」(ビュー・アンド・ハルト 1886年11月2日)

- b. わたしたちは救いを稼ぐことはできません。それはキリストの功績を通してのみ得ることができますが、それでもわたしたちは何を命じられていますか(ピリピ 2:12, 13)。

「わたしたち自身の救いの達成に努めることは、わたしたち自身の分野において、弱く、効果のない死すべき人間であるわたしたちに委ねられてはいない。あなたのうちに働かれるのはキリストである。そしてこれはアダムのすべてのむすこ娘の特権である。しかし、わたしたちは働かなければならない。わたしたちは怠惰であってはならない。わたしたちはこの世に働くためにおかれているのである。ここで腕組みをするためにおかれているのではない。」(この日を神と共に 72)

「あなたは自分の側で何の活動もなしに、〔神の〕祝福を楽しむことはできない。救いはあなたに無償で提供された賜物である。それを手に入れるための条件は、無償の賜物であること以外に何も無い。しかし、あなたの側での協力は、自分の救いのために重要不可欠である。……わたしたちは日々自分の運命を実現しているのである。わたしたちには、勝ち取るべき永遠の命の冠と、避けるべき黄泉がある。」(ビュー・アンド・ハルト 1891年8月25日)

## 個人的な復習問題

1. わたしたちがキリストを自分の生涯の主として受け入れる時にもたらされる変化を説明しなさい。
2. この世において最も高額なものは何ですか。またなぜですか。
3. 真の悔い改めと改心の実を描写しなさい。
4. 神がすべてのすべてであられるという基本的な真理は、どれほど遠大なものかを説明しなさい。
5. わたしたちは自分たちの救いに向かって、何をなすことができ、何をなすことができませんか。

## イエスと共に歩む

「あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから、彼にあつて歩きなさい。また、彼に根ざし、彼にあつて建てられ、そして教えられたように、信仰が確立されて、あふれるばかり感謝しなさい。」(コロサイ 2:6, 7)

「世界が1900年前に必要としたもの、すなわち、キリストの啓示は今日も必要であり、大改革運動が要求されているが、肉体と知能と精神の回復の働きはキリストの恵みによって初めて完成されるものである。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 114)

推奨文献：キリストへの道 159-178

日曜日

12月22日

### 1. 神はわたしたちを呼んでおられる

- a. ご自分の回復の働きにおいて、神がわたしたちに願っておられることを述べなさい(ルカ 15:4)。

「全宇宙の前で神の御名が尊ばれることがこのお方のご計画である。全地は、このお方の無限の栄光を示さなければならない。このお方はこの地からご自分のために民を集めておられる。このお方のみ旨が宇宙の律法である。このお方はすべての人間にご自分と協力するように召しておられる。しかし、このお方はだれも強制なさらない。この方はご自身の御手のうちに人間の運命をおき、人にその将来の幸福は自分の選択にかかっていることをお告げになる。救われるためには、彼は神の回復の働きにおいてこのお方と協力しなければならない。」(原稿リス 18 巻 271)

人が高い地位から墮落したという最も強力な証拠は、戻るためにそれほどの代価がかかるという事実である。戻る道は、一センチごと、毎時間ごととの厳しい戦いによってのみ獲得できる。意志の一瞬の活動によって、人は悪の力のうちに身をおくかもしれない。しかし、これらのかせを断ち切り、より高く、より聖なる生涯に到達するためには、意志の一瞬の行為以上のものが要求されている。目的が形成され、働きが始められるかもしれないが、その達成のためには、骨折り、時間、辛抱、忍耐、そして犠牲が要求される。」(教会への証 8 巻 313)

## 2. 奉仕のための献身

- a. 主は今日何を経験するようにとご自分の民を招いておられますか(ヨブ 22:21, 22; ペテロ第一 1:21-25)。

「神を知ることはあらゆる真の教育、真の奉仕の基礎である。それは誘惑に対する唯一のほんとうの防御であり、わたしたちの品性を神に似たものにするのできるものはこのほかにはない。

このことは人類向上のために働いているすべての人に必要な知識である。品性の变化、生活の純潔、奉仕の能率、正しい原則の厳守はすべて神に関する正しい知識に基く。この知識は地上の生涯のためにも、またきたるべき国での生活のためにも重要な準備である。」(ミストリー・オブ・ヒーリング<sup>3</sup> 381)

「キリストが規則と模範によって教えてくださった原則を実践することは、キリストに従う者の経験を、キリストの経験に似たものとする。」(レビュー・アノド<sup>4</sup>・ハラルド<sup>5</sup> 1895年1月15日)

- b. わたしたちは、キリストに従いたいという自分たちの願いにおける弟子たちの献身と決心の深さから、何を学ぶべきですか(ヨハネ 11:16; 13:37; テサロニケ第一 5:23)。

「キリストを信じる信仰によって生きる魂は、神のみ旨を知り、それを行うということ以上に大きな善を望まない。」(教会への証 5巻 644)

「クリスチャンは自分たちの体を『神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物として』捧げるように命じられている(ローマ 12:1)。こうするためには、わたしたちのすべての力ができるかぎり最上の状態に維持されていなければならない。身体的に、また精神的に力を弱めることは何でも人を自分の創造主の奉仕にふさわしくないものとする。」(新しい生涯 18)

「十字架にかかっておられるキリストは福音であられた。……これがわたしたちのメッセージであり、わたしたちの論拠であり、わたしたちの教理であり、悔い改めない者へのわたしたちの警告、悲しんでいる者への励まし、すべて信じる者への希望である。もしわたしたちが人の思いの中に関心と呼び覚まし、キリストに目を留めさせることができるなら、わたしたちはわきへ退き、彼らに自分たちの目をただ神の小羊の上にとどめて続けるように頼むのである。……イエスに目をとめている人は、すべてを後にする。彼は利己心に死ぬ。彼はすべての神のみ言葉、すなわちキリストのうちに非常に栄光に満ちて、すばらしく高められている御言葉を信じるのである。」(パウル・コムケル [E. G. 柯イトメント] 6巻 1113)

### 3. 個人的な関係

- a. 主が、人生の逆境にも難題にも、ご自分の子らと持ちたいと望んでおられる関係を述べなさい (ルカ 15:22-24; ヨハネ 17:3, 16-20)。

「もしあなたが自分の罪を告白するならば、それらは許されると信じなさい。なぜなら、約束は明白だからである。『もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる』(ヨハネ第一 1:9)。そうであれば、なぜこのお方の許しの愛を疑うことによってこのお方を辱めるのか。あなたの罪を告白したら、神のみ言葉にたがうことはなく、約束されらお方は忠実であることを信じなさい。あなたが自分の罪を告白するのがあなたの義務であることと同じくらい、神がご自分のみ言葉を成就して、あなたの罪を許して下さることを信じるのがあなたの義務である。ご自分がなさんと仰せになった通りにする—あなたのすべての不義を許す—お方として神を信じる信仰を働かせなければならない。」(天国で 126)

「もしわたしたちが〔キリスト〕に完全に降伏し、罪と情欲と誇りの生涯を後にし、キリストとこのお方の功績にすがりつくならば、このお方は約束されたことをみな成就してくださる。このお方はご自分に求めるすべてのものに惜しみなく与えると仰せになる。わたしたちはそれを信じることができないのであろうか。わたしはこの点においてこのお方を試してきた。そしてこのお方がご自分のすべての約束を果たすことに忠実であられることを知っている。」(サイン・オブ・タイムズ 1887年9月29日)

- b. カルバリーの十字架は、わたしたちの神との関係を確立するのに、どれ程度の感化力がありますか (ヨハネ 12:32)。

「カルバリーの十字架は挑戦し、ついにはすべての世俗のまた黄泉の力を征服する。十字架にすべての感化力が集中しており、そこからすべての感化力が出ている。それは魅力の大中心である。なぜなら、その上でキリストが人類のためにご自分の命を与えて下さったからである。この犠牲は、人を元の完全さに回復するという目的で捧げられた。しかり、それ以上に、それは人に品性の完全な変化を与え、勝ち得てあまりある者にするために捧げられたのである。……

もし十字架がそれに好意的な感化力を見出さなければ、それは感化力を創造する。幾世代をも通じて、この時代のための真理は、現代の真理として明らかにされている。十字架上のキリストはあわれみと真理が共に会い、義と平和が互に口づけする媒介である。これは世界を動かすための手段である。」(パウル・コムツ[E. G. 柯什ト] 6 卷 1113)

#### 4. 問題と試練

- a. 試練と困難に直面するとき、そしてわたしたちは一人だと感じて絶望するとき、何を覚えることができますか（マタイ 11:28; 詩篇 36:9, 10）。

「キリストのみ言葉は、それを聞く人々にとって非常に慰めに満ち、元気づけるものであるが、それは今日わたしたちのためである。忠実な羊飼いが自分の羊を知り、保護するように、キリストはご自分の子らを保護される。このお方は各々を取り囲む試練と困難を知っておられる。『主は牧者のようにその群れを養い、そのかいなに小羊をいだし、そのふところに入れて携えゆき、乳を飲ませているものをやさしく導かれる』とイザヤは宣言する（イザヤ 40:11）。キリストはご自分の羊を親密に知っており、苦しみ、無力な者はこのお方の特別な保護の対象である。このお方は彼らのためにご自分の命をお与えになった。そしてこのお方は他のだれもできないほど彼らの必要をご存じである。」（ビュー・アソド・ハラド 1897年5月18日）

「イエスはあなたの会う試練や困難が不意に襲われ、驚かされるがままに放っておかれなかった。このお方はそれらについてすべてあなたに教えてこられた。そしてこのお方はまた試練が来るときに、倒されたり、圧倒されたりされないようにと命じられた。あなたはイエスを、すなわちあなたの贖い主を仰がなければならない。そして快活に喜んでいなければならない。……わたしたちには生ける救い主がおられ、このお方はわたしたちを非常に愛されるがゆえに、わたしたちのために死なれた。それはこのお方を通して、わたしたちが希望、力、勇気を持ち、このお方と共にこのお方の御座に座するためである。」（上を仰いで 211）

「サタンはあなたが無力で自らを祝福することができないとほめかす。それは事実である。あなたは無力である。しかし、彼の前にイエスを掲げなさい。『わたしにはよみがえられた救い主がおられる。わたしはこのお方に信頼する。そしてこのお方は決して、わたしがうろたえることを許されない。このお方の御名のうちにわたしは勝利する。このお方はわたしの義であり、わたしの喜びの冠であられる』。ここでだれも自分の事情が希望のないものだと感じないようにしなさい。なぜなら、そうではないからである。あなたは自分が罪深く、面目を失った者であることを見るかもしれない。しかし、その理由のゆえに、あなたには救い主が必要なのである。」（信仰と行い 37）

- b. わたしたちの経験の特徴づけるものは何ですか（詩篇 16:11; エペソ 5:18; コロサイ 2:6, 7）。

「〔至聖所におけるエホバの〕御座のまわりのセラピムは、神の栄光を見るときに非常に敬神的な畏れに満たされているために、一瞬でも自らを賞賛の思いで見ることはない。……彼らは神に栄光を帰すことに、完全に満足している。このお方のご臨在のうちに宿り、このお方の是認のほほ笑みの下にあつて、彼らはそれ以上何も望まないのである。」（神の驚くべき恵み 72）

## 5. キリストが中心の奉仕

## a. 本当のクリスチャンの歩みはどのように現れますか (ヨハネ第一 2:6; 4:19)。

「キリストは神の戒めに対するご自分の民の従順に重要性を付随させておられる。彼らはそれらについて知的な知識を持ち、それらを日常生活に持ち込まなければならぬ。人は神の戒めを守ることはできない。ただキリストのうちにあり、またキリストが彼のうちにいるときだけである。そして人がこのお方の戒めを照らす光を持ちながら、それらの一つでも無視していながら、キリストのうちにあることはできない。このお方のみ言葉に対する堅固で自発的な従順によって、彼らは神の遣わされたお方への自分たちの愛の証拠を示すのである。……

そのすべての危急時や困惑において、彼らはイエス・キリストのうちに助け手を得るのである。」(この日を神と共に 142)

## b. 最終的にわたしたちの生涯の運命は、各々のわたしたちの下す正しいか、もしくは誤った判断によって決定します。わたしたち一人びとりにまで、どのような嘆願がごだましていますか (申命記 30:19; ペテロ第一 1:13-16; エペソ 4:1)。それはなぜですか (黙示録 5:12)。

「聖書を探るときに、つねに思いの前に保たれているべき一つの偉大な中心的真理がある。それはキリスト、しかも十字架につけられたキリストである。……わたしたちが神の律法の高められた性質を識別できるのはただ十字架の光においてである。罪によって麻痺した魂は、ただわたしたちの救いの創始者であられるお方によって、十字架上でなされたみわざを通してのみ命を授けられることができる。」(わたしを知るために 208)

## 個人的な復習問題

1. 何がご自分の子らに対する神の願いですか。
2. 神との正しい関係を持つということは、どういう意味かを述べなさい。
3. わたしたちの回復のために、神はどこまでなさると約束なさいましたか。
4. わたしたちが困難に直面するとき、何を覚えるべきですか。
5. どのような偉大な中心的な真理がわたしたちを心と生活の純潔へと導くことができますか。

# 第一安息日献金

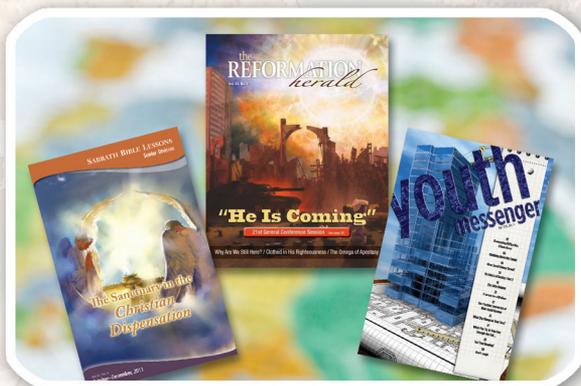


10月5日

スリナムの礼拝堂のために  
(4 ページ参照)

11月2日

ミッションフィールドの  
文書のために  
(25 ページ参照)



12月7日

子どもと青年プロジェクト  
(51 ページ参照)

